学　校　要　覧

平成23年度

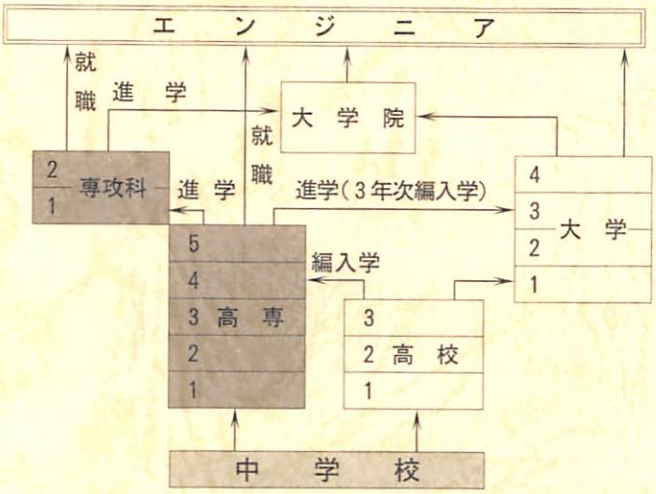
神戸市立工業高等専門学校

KOBE CITY COLLEGE OF TECHNOLOGY

■本校設立の趣旨

わが国のめざましい産業の発展を支える優秀な技術者を養成するため、昭和37年度に高等専門学校の制度が発足しました。高等専門学校は中学校卒業程度を入学資格とする5年制の高等教育機関であり、本校も昭和38年4月1日に神戸市立六甲工業高等専門学校として創設されました。その後昭和41年4月1日に神戸市立工業高等専門学校と改名しましたが、創立以来一貫して、すぐれた人格と高度な技術を身につけた技術者を育成しています。

系　統　図



■沿　革

昭和37年12月15日	神戸市立六甲工業高等専門学校設立認可
昭和38年4月1日	神戸市立六甲工業高等専門学校設置 （機械工学科・電気工学科・工業化学科・土木工学科の4学科） 初代校長　近藤泰夫　任命される
昭和41年4月1日	校名「神戸市立六甲工業高等専門学校」を「神戸市立工業高等専門学校」と変更
昭和43年10月12日	創立10周年記念式典挙行
昭和46年4月1日	第2代校長　山崎　博　任命される
昭和51年4月1日	第3代校長　山下哲則　任命される
昭和58年10月28日	創立20周年記念式典挙行
昭和63年4月1日	電子工学科新設（電気工学科から分科）
平成元年4月3日	第4代校長　村尾正信　任命される
平成2年4月1日	研究学園都市へ校舎移転 「工業化学科」を「応用化学科」に科名変更 機械工学科にコース制導入「設計システムコース」「システム制御コース」
平成5年5月19日	創立30周年記念式典挙行
平成6年4月1日	「土木工学科」を「都市工学科」に科名変更
平成7年4月1日	第5代校長　松本安夫　任命される
平成10年4月1日	専攻科設置「電気電子工学専攻」「応用化学専攻」の2専攻
平成12年4月1日	第6代校長　西野種夫　任命される
平成12年4月1日	専攻科設置「機械システム工学専攻」「都市工学専攻」の2専攻
平成18年2月23日	機械工学科がＫＥＭＳ（神戸環境マネジメントシステム）を認証取得
平成18年4月1日	第7代校長　黒田勝彦　任命される
平成18年5月8日	工学系複合プログラムがＪＡＢＥＥ（日本技術者教育認定機構）に認定される
平成19年10月31日	神戸市立工業高等専門学校（全校組織）としてＫＥＭＳを認証取得
平成20年10月22日	専攻科設立10周年記念式典挙行
平成21年3月27日	大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認定評価
平成23年4月1日	第8代校長　伊藤文平　任命される

■歴代校長

氏　名	在　職　期　間
近藤泰夫	昭和38年4月1日 ～ 昭和46年3月31日
山崎　博	昭和46年4月1日 ～ 昭和51年3月31日
山下哲則	昭和51年4月1日 ～ 平成元年3月31日
村尾正信	平成元年4月3日 ～ 平成7年3月31日
松本安夫	平成7年4月1日 ～ 平成12年3月31日
西野種夫	平成12年4月1日 ～ 平成18年3月31日
黒田勝彦	平成18年4月1日 ～ 平成23年3月31日
伊藤文平	平成23年4月1日 ～ 現在

■本校の目的

1．本校の使命

本校は、学校教育法の定める高等専門学校として、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること、並びにその教育、研究機能を活用して国際港都神戸の産業及び文化の発展向上に寄与することを使命とする。

2．本校の教育方針

■人間性豊かな教育

心身の調和のとれた、たくましい感性豊かな人間形成をめざして、教養教育の充実をはかるとともに、スポーツ・文化クラブ等の課外活動を振興する。

■基礎学力の充実と深い専門性を培う教育

工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる実践的かつ創造的人材を育成する。

■国際性を育てる教育

国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる人材を育成する。

3．養成すべき人材像（準学士課程：5年間）

健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成する。

4．卒業時に身につけるべき学力や資質・能力（準学士課程の学習・教育目標）

（A）工学に関する基礎知識を身につける。

（A1）数　学　工学的諸問題に対処する際に必要な数学の基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。

（A2）自然科学　工学的諸問題に対処する際に必要な自然科学に関する基礎知識を身につけ、問題を解くことができる。

（A3）情報技術　工学的諸問題に対処する際に必要な情報に関する基礎知識を身につけ、活用することができる。

（A4）専門分野　各学科の専門分野における工学の基礎知識・基礎技術を身につけ、活用することができる。※詳細はp. 4 ～p. 5 に記載

（B）コミュニケーションの基礎的能力を身につける。

（B1）論理的説明　自分の意図する内容を文章および口頭で相手に適切に伝えることができる。

（B2）質疑応答　自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

（B3）日常英語　日常的な話題に関する平易な英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。

（B4）技術英語　英語で書かれた平易な技術的文章の内容を理解し、日本語で説明することができる。

（C）複合的な視点で問題を解決する基礎的能力や実践力を身につける。

（C1）応用・解析　工学的基礎知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。

（C2）複合・解決　与えられた課題に対して、工学的基礎知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立て、解決できる。

（C3）体力・教養　技術者として活動するために必要な体力や一般教養の基礎を身につける。

（C4）協調・報告　与えられた実験テーマに対してグループで協調して挑み、 期日内に解決して報告

書を書くことができる。

（D）地球的視点と技術者倫理を身につける。

（D１）技術者倫理　工学技術が社会や自然に与える影響および技術者が負う倫理的責任を理解することができる。

（D２）異文化理解　異文化を理解し、多面的に物事を考えることができる。

5．養成すべき人材像（専攻科課程：２年間）

専門分野の知識・能力を持つと共に他分野の知識も有し、培われた一般教養のもとに、柔軟で複合的視点に立った思考ができ、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

6．修了時に身につけるべき学力や資質・能力（専攻科課程の学習・教育目標）

（A）工学に関する基礎知識と専門知識を身につける.

（A１）数　　学　工学的諸問題に対処する際に必要な線形代数、微分方程式、ベクトル解析、 確率統計などの数学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。

（A２）自然科学　工学的諸問題に対処する際に必要な力学、電磁気学、熱力学などの自然科学に関する知識を身につけ、問題を解くことができる。

（A３）情報技術　工学的諸問題に対処する際に必要な情報技術に関する知識を身につけ、活用することができる。

（A４）専門分野　各専攻分野における工学基礎と専門分野の知識・技術を身につけ、活用することができる。※詳細はp. 6 ～p. 7 に記載

（B）コミュニケーション能力を身につける。

（B１）論理的説明　技術的な内容について、図、表を用い、文章および口頭で論理的に説明することができる。

（B２）質疑応答　自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

（B３）日常英語　日常的な話題に関する英語の文章を読み、聞いて、その内容を理解することができる。

（B４）技術英語　英語で書かれた技術的・学術的論文の内容を理解し、日本語で説明することができる。また、特別研究等の研究に関する概要を英語で記述することができる。

（C）複合的な視点で問題を解決する能力や実践力を身につける。

（C１）応用・解析　工学基礎や専門分野の知識を工学的諸問題に応用して、得られた結果を的確に解析することができる。

（C２）複合・解決　与えられた課題に対して、工学基礎や専門分野の知識を応用し、かつ情報を収集して戦略を立てることができる。また、複合的な知識・技術・手法を用いてデザインし工学的諸問題を解決することができる。

（C３）体力・教養　技術者として活動するために必要な体力や一般教養を身につける。

（C４）協調・報告　特定の問題に対してグループで協議して挑み、期日内に解決して報告書を書くことができる。

（D）地球的視点と技術者倫理を身につける。

（D１）技術者倫理　工学技術が社会や自然に与える影響を理解し、また技術者が負う倫理的責任を自覚し、自己の倫理観を説明することができる。

（D２）異文化理解　異文化を理解し、多面的に物事を考え、自分の意見を説明することができる。

※学習・教育目標（Ａ４：専門分野）

機械工学科

①　機械工学的諸問題に対処する際に必要な材料に関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・機械工学的諸問題に対処する際に必要な材料および材料力学に関する基礎知識を身に付け、活用できる。

②　機械工学的諸問題に対処する際に必要な熱力学および流体力学に関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・熱および流体の諸性質を理解し、対象とする熱流体の物性値を定めることができる。

・熱流体に関する諸定理を理解し、それを用いて熱流動現象を説明できる。

・各種熱機関や流体機械の動作原理や特徴を理解し、エネルギー・環境問題を念頭におきながら、目的に応じた応用技術・システムを構築できる。

③　機械工学的諸問題に対処する際に必要な計測および制御に関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・設計、製造等を行う際に必要な計測の基礎知識を身につけ活用できる。

・設計、製造等を行う際に必要な制御の基礎知識を身につけ活用できる。

④　機械工学的諸問題に対処する際に必要な生産に関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・機械工作に関連する基本作業を習得し、実用に応じた加工ができる。

・機械加工および塑性加工の基礎知識を習得し、設計・生産分野における技術課題に対応できる。

・生産システムに必要な基礎知識を理解し、生産管理や生産技術として活用できる。

電気工学科

①　電気電子工学分野に関する基礎知識を身に付け、活用できる。

・電気および磁気に関する諸現象と諸定理を理解し、それらを説明できる。

・電気回路や電子回路の解析ができ、基本的な回路を組み活用できる。

・コンピュータ・リテラシーと基本的なプログラミング技術を身に付け、活用できる。

②　電気材料や電子デバイスに関する基礎知識を身に付け、活用できる。

・電気電子材料における原子集合としての諸現象と諸定理を理解し、それらを説明できる。

・電気電子材料の特性を理解し、電気電子素子を活用できる。

③　計測や制御に関する基礎知識を身に付け、活用できる。

・計測機器のしくみを理解し、適切な使用ができる。

・計測システムを構築し、計測データの処理ができる。

・制御システムを解析でき、基本的なシステムを組み活用できる。

④　エネルギー、電気機器、設備に関する基礎知識を身に付け、活用できる。

・電気エネルギーの発生と輸送のしくみを理解し、環境や信頼性を考慮した電気設備の基礎知識を身に付ける。

・電気機器の仕組みを理解し、用途に応じて適切な機器を使用できる。

電子工学科

①　電気電子工学分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・電界および磁界に関する諸定理を理解し、それらによって生じる物理現象を説明できる。

・電気回路や電子回路の動作を理解し、基本的な回路を設計できる。

・工学系に必要な情報リテラシーと基本的なプログラミング技術を身につける。

②　物性や電子デバイスに関する基礎知識を身につけ、活用できる。

・電子部品や電子素子（電子デバイス）に使用される材料の特徴を理解し、取り扱うことができる。

・電子部品や電子素子のしくみと特性を理解し、活用できる。

③ **計測や制御に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 計測機器のしくみを理解し、適切な使用ができる。
- 自動計測システムを構築し、計測データの処理ができる。
- 電子制御システムを理解し、簡単なシステムを構成できる。

④ **情報や通信に関するに関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- コンピュータおよび周辺ハードウェアのしくみを理解し、基本的な回路を設計できる。
- コンピュータソフトウェアを利用活用でき、開発できる。
- 情報ネットワークのしくみを理解し、小規模なネットワークを構築できる。

応用化学科

① **有機化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 代表的な有機化合物の構造・性質・反応性について説明できる。
- 各種スペクトルの原理を理解し、解析に利用できる。
- 有機化学反応を電子論や分子構造に基づいて反応機構を解説できる。

② **無機化学・分析化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 主な無機化合物の製法や性質を説明できる。
- 容量分析や代表的な分析機器の使用法を習得し、その解析ができる。

③ **物理化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 化学熱力学の基礎概念を理解し、それらの応用としての相平衡関係について説明できる。
- 反応速度式や量子理論の基礎を理解し、それらを用いて各種現象の説明ができる。

④ **化学工学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 拡散単位操作の物理化学的基礎を理解し、各種装置の基本的な設計ができる。
- 移動現象の基礎理論を理解し、装置設計に活用できる。
- 反応工学の基礎理論を理解し、反応モデルや反応器の種類に応じた反応器の基本設計ができる。

⑤ **生物工学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 生物を構成する生体分子の種類、構造について理解し、生合成過程を説明できる。
- 遺伝子組み換え技術の応用例を理解し、有用性と問題点について説明できる。

都市工学科

① **設計に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 測量に関する理論を理解し、測量技術を身につける。
- 設計製図に関する理論を理解し、図面作成技術を身につける。
- 情報処理、CADに関する理論を理解し、設計に活用できる。

② **力学に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 応用物理に関する理論を理解し、力学の解析に活用できる。
- 構造力学、水理学、土質力学に関する諸定理を理解し、基礎的解析ができる。

③ **施工に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- コンクリート工学、材料学に関する理論を理解し、基礎的な施工技術を身につける。
- 施工管理学に関する理論を理解し、施工に対して活用できる。
- 防災に関する理論を理解し、施工に対して活用できる。

④ **環境に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 都市環境、環境水工、環境生態に関する理論を理解し、建設に対して活用できる。
- 都市交通に関する理論を理解し、交通データの処理ができる。
- デザイン、景観に関する理論を理解し、建設に対して活用できる。

機械システム工学専攻

① **機械工学的諸問題に対処する際に必要な材料に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 機械工学的諸問題に対処する際に必要な材料および材料力学に関する基礎知識と発展的な知識を身に付け、活用できる。

② **機械工学的諸問題に対処する際に必要な熱力学および流体力学に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 熱流体に関する各種物理量の計測法を理解し、実際に計測し評価できる。
- 理想化された熱流体および実際の熱流体の移動を数式で表し、それを用いて熱流動現象を説明できる。
- 各種熱機関の特性を理解し、エネルギー変換技術における性能改善のための指針を提案できる。

③ **機械工学的諸問題に対処する際に必要な計測および制御に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 研究開発、応用設計、製造等を行う際に必要な計測の基礎知識を身につけ活用できる。
- 研究開発、応用設計、製造等を行う際に必要な計測の専門知識を身につけ活用できる。
- 研究開発、応用設計、製造等を行う際に必要な制御の専門知識を身につけ活用できる。

④ **機械工学的諸問題に対処する際に必要な生産に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 工業材料、先端材料の成形加工法に関する専門知識を習得し、材料加工や生産加工に活用できる。
- 切削加工に関する専門知識や先端加工技術を習得し、生産技術として応用できる。
- 生産に関する専門的かつ総合的な知識および技術を習得し、生産システムの構築ができる。

電気電子工学専攻

① **電気電子工学分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 電磁気学に関する理解を深め、応用力を養うことができる。
- 高電圧の発生方法ならびに測定方法を理解することができる。
- 集中・分布定数回路をコンピュータを用いて解析することができる。
- 離散フーリエ変換、逆離散フーリエ変換を理解し、応用することができる。

② **物性や電子デバイスに関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 光の波動的性質や光を導波する光ファイバの原理、特性、応用などを理解することができる。
- 光デバイスの原理や応用技術を理解することができる。
- 人間生活と照明及び環境と照明について理解することができる。
- プラズマについての基礎特性や計測技術について理解することができる。

③ **計測や制御に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 光センサの原理を理解し、具体例の問題解決能力を身につけることができる。
- 放射線計測の手法を学び、医療機器などの産業応用に関して理解することができる。
- 最適制御、ロバスト制御などの設計理論を理解することができる。

④ **情報や通信に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- ディジタル信号処理の基礎的な考え方を理解することができる。
- 一般的なアルゴリズムやそれを実現するためのデータ構造を理解することができる。
- 画像処理の基礎およびコンピュータグラフィクスの基礎を理解することができる。

⑤ **エネルギー、電気機器、設備に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 電力変換装置や電力用デバイスの基礎を理解することができる。
- 現状のエネルギー変換の基本をなす熱力学について理解することができる。

応用化学専攻

① **有機化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。**
- 有機化学を理解する上で重要な有機反応機構を説明できるとともに、有機金属錯体の構造や基本反応を

理論的に説明できる。
・高分子化学および高分子材料化学の基本知識（構造と性質）をより深めるとともに、機能性を利用した応用例についても構造との関連から説明できる。

② 無機化学・分析化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・無機化学物質の各種合成法の特徴が説明できる。
・無機材料合成の基礎となる相平衡や錯体の合成法が説明できるとともに、無機化学物の潜在危険性を理解し安全に取り扱うことが理解できる。
・大気浮遊物質の性状や環境に対する影響など大気環境に関する諸問題の概要を説明できる。

③ 物理化学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・分子分光学の基礎理論が説明できる。
・化学の基礎となる化学反応の基礎理論を説明できるとともに、量子化学計算を用いて遷移状態の構造を予測することができる。
・各種電気化学反応の基礎理論を説明できるとともに、その応用例の概要を説明できる。

④ 化学工学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・化学工学単位操作の基礎理論の理解を確実なものにするとともに、それを応用した各種装置に関してもその概要を説明できる。
・化学プロセスを支配する運動量、エネルギー、物質移動の原理を相似則から理解し、これらを装置設計に活かすことができる。
・熱力学のうち化学技術者に必要な分野に関する熱力学計算ができる。

⑤ 生物工学関連分野に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・生化学の基礎を理解しながら分子生物学と遺伝子工学の基礎と応用について理解できる。

都市工学専攻

① 設計に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・数理工学、数理統計に関する理論を理解し、設計に活用できる。
・シミュレーションに関する理論を理解し、設計に活用できる。

② 力学に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・応用数学、応用物理に関する理論を理解し、力学の応用的解析に活用できる。
・数値流体力学に関する諸定理を理解し、応用的解析ができる。

③ 施工に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・コンクリート構造、複合構造に関する理論を理解し、施行技術を身につける。
・応用防災に関する理論を理解し、施工に対して活用できる。
・基礎、耐震に関する理論を理解し、施工に対して活用できる。

④ 環境に関する基礎知識を身につけ、活用できる。
・水辺環境、海岸、河川に関する理論を理解し、建設に対して活用できる。
・都市計画、交通計画に関する理論を理解し、計画データの処理ができる。

■入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本科（準学士課程：5年間）入試

1．工学に興味を持ち、将来技術者として活躍したいと強く希望を持っていること
2．論理的に考えることができ、実験や実習に興味を持っていること
3．数学や理科が得意なこと、英語が好きなこと
4．基礎的な学力を有していること

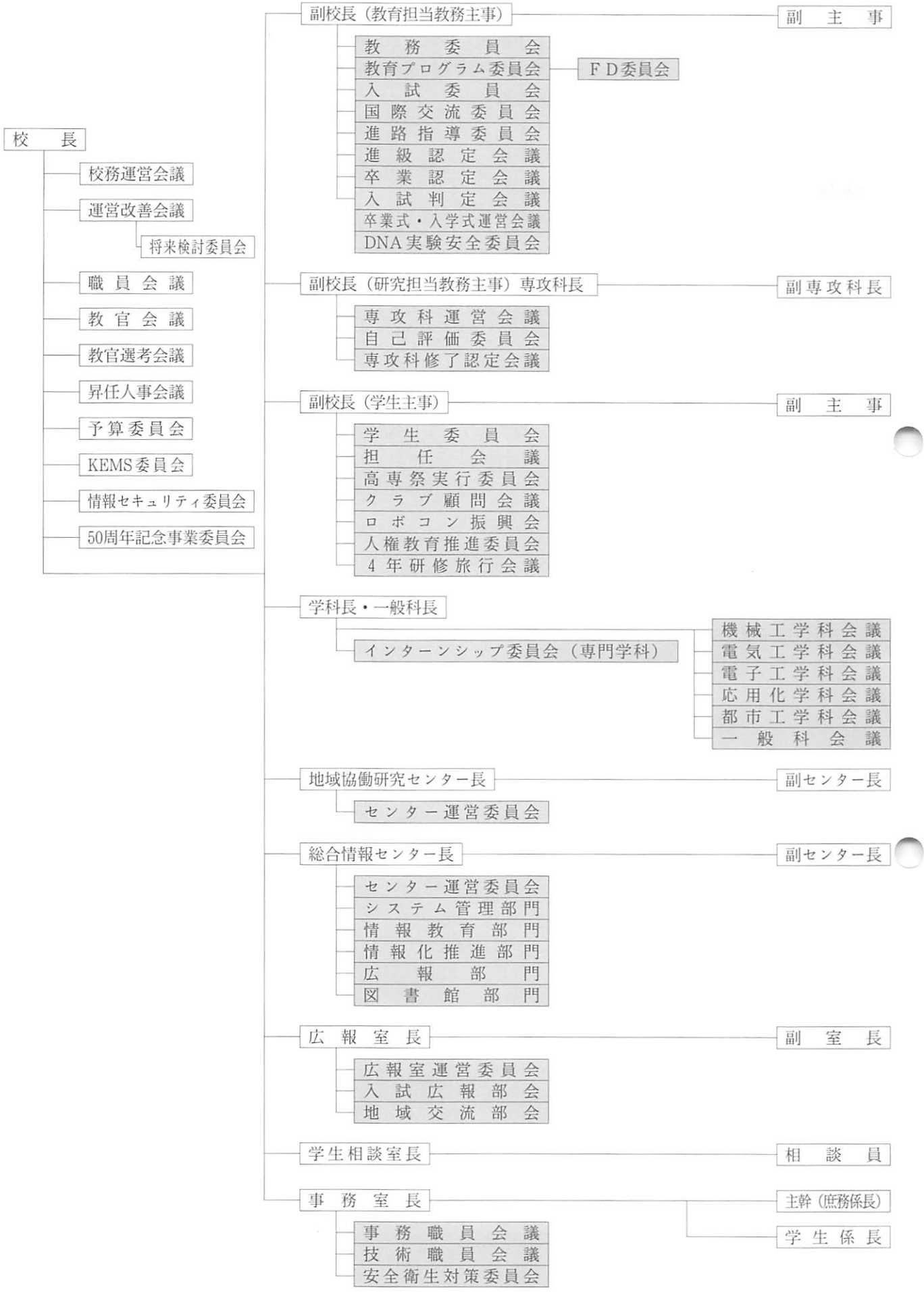
本科編入試

1．工学に関する基礎知識を有し、各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）に強い関心を持っていること
2．論理的に考えることができ、実験や実習に興味を持っていること
3．理数系科目が得意なこと、外国語学習に関心があること

専攻科入試

1．総合的な基礎学力を有し、数学や英語が得意なこと
2．各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）の基礎知識を有し、さらに専門性を深めることに熱意を持っていること
3．他分野の技術にも興味を持ち、複合的な視点で問題発見と問題解決することに意欲的なこと

■組 織 図


校　長
校務運営会議
運営改善会議
将来検討委員会
職 員 会 議
教 官 会 議
教官選考会議
昇任人事会議
予算委員会
KEMS委員会
情報セキュリティ委員会
50周年記念事業委員会
副校長（教育担当教務主事）
副　主　事
教　務　委　員　会
教育プログラム委員会
FD委員会
入　試　委　員　会
国 際 交 流 委 員 会
進 路 指 導 委 員 会
進 級 認 定 会 議
卒 業 認 定 会 議
入 試 判 定 会 議
卒業式・入学式運営会議
DNA実験安全委員会
副校長（研究担当教務主事）専攻科長
副専攻科長
専 攻 科 運 営 会 議
自 己 評 価 委 員 会
専攻科修了認定会議
副校長（学生主事）
副　主　事
学　生　委　員　会
担　任　会　議
高専祭実行委員会
クラブ顧問会議
ロボコン振興会
人権教育推進委員会
4 年 研 修 旅 行 会 議
学科長・一般科長
インターンシップ委員会（専門学科）
機 械 工 学 科 会 議
電 気 工 学 科 会 議
電 子 工 学 科 会 議
応 用 化 学 科 会 議
都 市 工 学 科 会 議
一　般　科　会　議
地域協働研究センター長
副センター長
センター運営委員会
総合情報センター長
副センター長
センター運営委員会
システム管理部門
情 報 教 育 部 門
情報化推進部門
広　報　部　門
図　書　館　部　門
広　報　室　長
副　室　長
広報室運営委員会
入 試 広 報 部 会
地 域 交 流 部 会
学生相談室長
相　談　員
事　務　室　長
主幹（庶務係長）
学 生 係 長
事 務 職 員 会 議
技 術 職 員 会 議
安全衛生対策委員会

■役職員一覧

校　　長	伊藤文平

副校長(教育担当教務主事)	赤対秀明	一般科長	前田誠一郎
副校長(研究担当教務主事、専攻科長兼任)	橋本好幸	地域協働研究センター長	小林　滋
副校長(学生主事)	大淵真一	総合情報センター長	笠井正三郎
機械工学科長	中辻　武	広報室長	八百俊介
電気工学科長	津吉　彰	学生相談室長	石塚正洋
電子工学科長	若林　茂	事務室長	矢内隆夫
応用化学科長	杉　廣志	主幹(庶務係長)	小倉恒一郎
都市工学科長	橋本渉一	学生係長	田路芳夫

■職員の現員

区分	教育職員						事務室職員			合計
	校長	教授	准教授	講師	助教	計	事務職員	技術職員	計	
現員	1	47	36	9	1	94	18	14	32	126

一般科目

高専での5年間は、ものの見方や考え方、生き方の基本的な方向が定まる、人生においてとても重要な時期です。一般科目では、この大切な時期に、豊かな人間性を育て社会人としての幅広い教養を身につけるとともに、専門科目を学習するための基礎的な学力を養います。

LL教室をはじめ、人文社会視聴覚教室、国語演習室、数学演習室、物理実験室、化学実験室等、施設設備も充実し、いろいろな授業形態に対応できるようになっています。

英語では、外国人教師による実用的な授業があります。また、歴史や地理の授業では映像教材を活用しています。高学年では、人文社会系やドイツ語・中国語で選択科目が開設されています。

大小2つの体育館、武道場、プール、テニスコート、広いグラウンドなど体育施設も充実しており、体育の授業とクラブ活動で活用し、体力作りに力を注いでいます。

主な施設

化学実験室、物理実験室、光学実験室、人文社会視聴覚教室、LL 教室、芸術教室
体育施設（グランド、テニスコート 6 面、体育館、小体育室、武道場、弓道場、トレーニングルーム、プール25m× 8 コース）

教育課程

授業科目		単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	9	3	3	2	1		
	倫理	2		2				
	政治・経済	2			2			
	論理学	1			1			
	歴史	4	2	2				
	地理	2	2					
	数学 I	14	6	4	4			
	数学 II	4	2	2				
	確率統計	1				1		
	物理	5	2	2	1			
	化学	5(4)	3(4)	2(0)				
	生物	1(2)		1(2)				
	保健・体育	9	2	2	2	2	1	
	芸術	1	1					
	英語	12	4	4	4			
	英語演習	5			1	2	2	
	修得単位計	77	27(28)	24(23)	17	6	3	
選択科目	ドイツ語	2				2		いずれか1科目を選択
	中国語	2						
	哲学	2					2	いずれか1科目を選択
	日本史	2						
	世界史	2						
	社会科学特講	2						
	人文科学特講	2						
	経済学	2						
	開設単位計	16				4	12	
	修得単位計	4				2	2	
一般科目開設単位計		93	27(28)	24(23)	17	10	15	
一般科目修得単位計		81	27(28)	24(23)	17	8	5	

（注）（ ）内は，応用化学科の実施単位数である。

教　員

教科	職名	氏名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担（研究室電話）
国語	教授 文学修士	吉川敏郎	国語	中世軍記物語	学生相談員 795－3295
	准教授 修士（文学）	土居文人	国語	近世小説におけるフィクションの方法の研究、日本語語源研究	795－3297
	講師 博士（文学）	舟見一哉	国語	中古・中世の和歌文学、書誌学	M2B担任 795－3296
人文・社会	教授 修士（学術）	高橋秀実	政治経済、経済学	国際関係論、米外交安全保障政策、冷戦期の東欧	795－3303
	教授 文学修士	手代木陽	倫理、哲学 ※応用倫理学	カントとドイツ啓蒙主義哲学 応用倫理学	795－3302
	教授 文学修士	町田吉隆	歴史、世界史	中国手工業史の研究、東洋陶磁史	M2A担任・2年学年主任 795－3298
	教授 文学修士	八百俊介	地理、社会科学特講 ※地域学	集落財政論、資源の共同利用と管理	広報室長 795－3300
	講師 博士（学術）	深見貴成	歴史、日本史	近現代日本の地域史、農業史	795－3294

教科	職名	氏名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担（研究室電話）
数学	教授 理学修士	石塚正洋	数学Ⅰ、数学Ⅱ	数学教育	学生相談員 795－3301
	教授 修士（学術）	末次武明	数学Ⅰ、数学Ⅱ	実験計画法、数学教育学	E1担任 795－3290
	教授 博士（学術）	八木善彦	数学Ⅰ、数学Ⅱ ※数理工学Ⅰ	数学教育、数学教育における電子機器の利用	D2担任 795－3293
	教授 理学修士	児玉宏児	数学Ⅰ、数学Ⅱ	結び目理論、低次元位相幾何	総合情報センター副センター長 795－3289
	教授 修士（理学）	横山卓司	数学Ⅰ、数学Ⅱ 応用数学Ⅰ、Ⅱ	代数幾何学	795－3287
	准教授 博士（理学）	菅野聡子	数学Ⅰ、確率統計	実解析的手法による偏微分方程式の研究	795－3292
	准教授 修士（理学）	吉村弥子	数学Ⅰ、数学Ⅱ	整数論	C3担任 795－3291
	准教授 博士（理学）	北村知徳	数学Ⅰ	グレブナー基底の理論的有効性と実践的有効性の探究	教務副主事 795－3288
理科	教授 理学博士	大多喜重明	物理	格子欠陥、物理教育	E2担任 795－3282
	准教授 博士（工学）	佐藤洋俊	化学	微量金属の濃縮・定量に関する研究、化学教育	M1A担任 795－3285
	准教授 博士（理学）	一瀬昌嗣	物理、電気磁気学Ⅱ	原子核物理・高エネルギー重イオン反応	795－3283
	講師 博士（理学）	福本晃造	化学	有機金属錯体の創製と機能探索	S2担任 795－3284
英語	教授 修士（言語教育）	西山正秋	英語、英語演習 ※英語講読	プレゼンテーション時の視線解析 英語学習者の心的辞書	795－3278
	教授 文学士	折附良啓	英語、英語演習	Wordsworth, Alain 研究、英語教育の変遷の研究	1年学年主任・C1担任 795－3280
	教授 修士（英語学）	前田誠一郎	英語、英語演習	気象英語研究 英語教育のためのパソコン活用	一般科長 795－3281
	教授 文学士	柳生成世	英語、英語演習	時事英語研究、日英語の比較研究	3年学年主任・D3担任 795－3275
	教授 文学士	田口純子	英語、英語演習	英語リーディング指導法	795－3276
	准教授 修士（文学）	今里典子	英語演習、英語	認知言語学、手話言語学	D1担任 795－3277
	准教授 修士（言語教育）	上垣宗明	英語演習 ※時事英語	プレゼンテーションの指導について Error Analysis	学生副主事 795－3279
独語	教授 博士（文学）	本田敏雄	ドイツ語、論理学 ※現代思想文化論 ※哲学特講	弁証法の歴史的批判的研究	795－3286
保健・体育	教授 体育学士	中川一穂	保健体育	剣道指導法、武道論研究	795－3304
	教授 修士（学術）	寺田雅裕	保健体育	水泳競技におけるレース分析	学生副主事 795－3304
	准教授 修士（体育学）	小森田敏	保健体育	ラグビー選手のコンディショニング、体力トレーニング、ラグビーのコーチング	S1担任 795－3304
	准教授 体育学士	春名桂	保健体育	バスケットボールコーチング論	M1B担任 795－3304

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏名	担当科目	現職等	氏名	担当科目	現職等
野村繁樹	国語		大倉恭子	音楽	
田林千尋	国語		鈴木城	美術	元市立神港高校教諭
藤田真依	数学Ⅱ		Aaron Martin (アーロン・マーティン)	英語演習	
中郷厚史	数学Ⅱ		陳国祺	中国語	
松本久司	化学	神戸高専名誉教授	西脇健二	物理	
森寿代	生物		倉橋信明	物理	

機械工学科

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、計測技術、電気電子技術、加工技術、設計法等の基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し、設計や製作ができる実践的技術者を養成する。

2．教育の特徴

準学士課程では、座学と実習系科目を科目間の連携に配慮して配置し、専門分野の基礎を教授することによって実践的技術者の養成を目指している。座学では、専門分野の基礎知識と機械工学における基本的な考え方を身につけ、実習系科目では、製図やコンピュータ演習によってイメージの表現能力や情報伝達能力を養っている。「機械実習」では、種々の工作機械や測定機器の操作方法を身につけ、3学年での「創造設計製作」において座学と実学の融合をはかっている。また、ロボットコンテスト、レスキューロボットコンテスト、ソーラーカー競技などの各種競技会へ積極的に参加することによって実践力を育成している。さらに、「機械工学実験」を通して解析・設計に要求されるデータ処理能力と論理的な思考能力を養うことに力を入れている。これらの集大成として、卒業研究で、課題の理解、解決策の検討と実行、結果の評価と発表などのプロセスを踏むことによって、即戦力となる実践的技術者の養成をはかっている。

教育課程

●共通

	授業科目	単位数	学年別配当 1年	2年	3年	4年	5年	備考
共通必修科目	応用数学ⅠA	2				2		
	応用数学ⅠB	1				1		
	応用数学Ⅱ	2				2		
	応用物理	2			1	1		
	工業力学	2			2			
	材料力学	2			2			
	材料力学Ⅰ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	工業熱力学	3				2	1	
	流体工学	3				2	1	
	機械力学Ⅰ	1				1		
	機械力学Ⅱ	1				1		
	情報基礎	2	2					
	情報処理	2		1			1	
	計測工学	2				2		
	工業英語	2					2	
	材料工学	2		2				
	機械工作法	1		1				
	機械工学概論	1		1				
	機械設計	2			2			
	設計製図	6	2	2	2			
	機械実習	7	3	3	1			
	創造設計製作	1			1			
	機械工学実験	6				4	2	
	電気工学	2			2			
	電子工学概論	1					1	
	卒業研究	7					7	

●設計システムコース

	授業科目	単位数	学年別配当 3年	4年	5年	備考
必修科目	自動制御	2			2	
	材料工学	2	2			
	加工工学	2	2			
	生産工学	1			1	
	工作機械	1			1	
	応用機械設計	2		2		
	機構学	1	1			
	設計製図	6		3	3	
選択科目	学外学習	1		1		3単位以上を修履
	エネルギー変換工学	2			2	
	精密加工学	2			2	
	材料力学特論	2			2	
	環境工学	2			2	
	ロボット工学	2			2	
	数値計算法	2			2	

設計システムコース	単位数	学年別配当 1年	2年	3年	4年	5年
専門科目開設単位合計	96	7	10	18	27	34
専門科目修得単位合計	86以上	7	10	18	26以上 4・5年で51以上	
一般科目修得単位合計	81	27	24	17	8	5
一般科目との合計修得単位	167以上	34	34	35	34以上 4・5年で64以上	

●システム制御コース

	授業科目	単位数	学年別配当 3年	4年	5年	備考
必修科目	自動制御	2		2		
	加工工学	1	1			
	生産システム	1			1	
	線形システム理論	2			2	
	情報工学	1		1		
	電気・電子回路	2	2			
	制御機器	2			2	
	応用計測	1			1	
	設計製図	5		3	2	
選択科目	学外実習	1		1		3単位以上を修履
	エネルギー変換工学	2			2	
	精密加工学	2			2	
	材料力学特論	2			2	
	環境工学	2			2	
	ロボット工学	2			2	
	数値計算法	2			2	

システムの制御コース	単位数	学年別配当 1年	2年	3年	4年	5年
専門科目開設単位合計	96	7	10	16	28	35
専門科目修得単位合計	86以上	7	10	16	27以上 4・5年で53以上	
一般科目修得単位合計	81	27	24	17	8	5
一般科目との合計修得単位	167以上	34	34	33	35以上 4・5年で64以上	

主な実験実習室

制御工学実験室、システム工学実験室、情報工学実験室、知能情報実験室、応用物理実験室、機械設計実験室、機械要素実験室、精密計測実験室、応用計測実験室、材料強度実験室、材料学実験室、生産加工学実験室、熱機関実験室、流体実験室、機械工場、鋳造工場等

主な設備

高速四球形摩擦試験機、万能材料試験機、衝撃試験機、走査型電子顕微鏡、高速ビデオカメラ、多関節ロボット、レーザードップラー流速計、X線回析装置、気液熱伝達実験装置、マシニングセンター、CAD、5軸制御高精度立形マシニングセンター、画像解析処理装置等

教　員

職　名	氏　名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担 (研究室電話)
教　授 博士(工学)	吉本隆光	工業熱力学、機械工学実験、エネルギー変換工学、機械実習 ※熱流体計測　※熱機関論	拡散および予混合火炎の火炎構造および保持機構に関する研究、エンジンの性能と排ガス特性の研究	教務副主事 795－3214
教　授 博士(工学)	中辻　武	応用機械設計、機械設計、機械工学概論、機械工学実験、設計製図 ※トライボロジー　※技術史	歯車潤滑に関する研究、極圧添加剤に関する研究、表面処理面のトライボロジ、技術史に関する研究	学科長 795－3221
教　授 工学修士	小林　滋	応用数学、機械工学実験、機械工学概論　※技術英語、※制御工学	アクチュエータの動的インピーダンス整合、レスキューロボットの研究	地域協働研究センター長 795－3215
教　授 博士(工学)	赤対秀明	流体工学、機械工学実験、機械工学概論、※熱流体計測	旋回気液二相流、マイクロバルブ、キャビテーション、活性汚泥の浮上分離、重量物浮上	教務主事(教育担当) 795－3213
教　授	斎藤　茂	精密加工学、機械実習、機械工学実験、創造設計製作、加工学、機械工作法	超音波加工の加工特性、高速切削	5年学年主任・M5D担任 795－3228
教　授 博士(工学)	小林洋二	線形システム理論、情報処理、情報基礎、設計製図、機械工学実験　※システム制御理論Ⅰ　※ゼミナール	機械システムのロバスト制御	総合情報センター副センター長 795－3225
教　授 博士(工学)	長　保浩	自動制御、応用数学、工業英語、機械工学実験　※航空工学概論　※システム制御理論Ⅱ	飛行制御系の設計に関する研究	4年学年主任・M4C担任 795－3210
教　授 博士(工学)	西田真之	材料力学、材料工学、機械工学実験 ※専攻科実験　※弾性力学　※X線工学	X線などの回析現象を用いた繊維強化材料の応力評価	学生副主事 795－3212
教　授 博士(工学)	宮本　猛	設計製図、加工工学、機械工学実験、機械実習　※切削工学	難削材の切削、鉄道レール研磨、画像処理による切削機構の解明	M3D 担任 795－3227
准教授 博士(工学)	田口秀文	電気工学、自動制御、制御機器、機械工学実験	2自由度 PID 制御	795－3217
教　授 博士(工学)	石崎繁利	設計製図、電子工学、電気・電子回路、機械工学実験　※エンジニアリングデザイン演習	工学教育に関する研究	広報副室長 795－3224
准教授 博士(工学)	和田明浩	材料力学、機械工学概論、機械工学実験、機械実習　※破壊力学 ※振動波動論　※ゼミナール	複合材料の劣化過程の損傷力学的モデリング、および超音波を用いた損傷の非破壊評価に関する研究	機械システム工学専攻主任 795－3209
准教授 博士(工学)	尾崎純一	機械力学Ⅰ、設計製図、機械実習、創造設計製作、加工工学、工業力学　※成形加工学　※エンジニアリングデザイン演習	テキスタイルコンポジットの熱成形に関する研究、グリーンコンポジットに関する研究	広報副室長 795－3520
准教授 博士(工学)	早稲田一嘉	情報基礎、材料力学特論、機械工学実験、材料工学、機械実習	超塑性セラミックを用いたセラミック同士の接合に関する研究	795－3218
准教授 博士(工学)	朝倉義裕	情報処理、情報工学、機械力学Ⅱ、情報基礎、数値計算法、機械工学実験　※シミュレーション工学　※知的材料解析	固相接合とその接合界面画像解析に関する研究、生体情報計測に関する研究	795－3211
准教授 博士(工学)	武縄　悟	計測工学、機械工学実験　※応用ロボット工学、情報基礎、設計製図	ロボットの触覚センシングに関する研究	M4D担任 795－3223
准教授 修士(工学)	熊野智之	応用物理、図学製図、機械工学実験　※ゼミナール　※レーザー工学	セラミックスの放射スペクトル制御に関する研究	M5C担任 795－3220
講　師 博士(学術)	黒住亮太	機械設計、機構学、設計製図、創造設計製作	適応学習制御を用いた支援機器の開発	
講　師 博士(工学)	鈴木隆起	流体工学、工業力学、情報処理、機械工学実験　※ゼミナール、※流れ学	マイクロバブル、重量物浮上 ターボ機械	M3C 担任 795－3216
講　師 博士(学術)	東　義隆	生産工学、生産システム、機械実習、機械工学実験、創造設計製作	小径切削工具の先端部位置検出システムの開発研究	795－3226

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏　名	担当科目	現　職　等	氏　名	担当科目	現　職　等
都築秀浩	設計製図	神鋼テクノ㈱顧問	堀田博之	機械実習	
西本武雄	設計製図	同　上	神内優秀	機械実習	
白澤秀則	材料工学	(財)近畿高エネルギー加工技術研究所	山崎友裕	材料力学	大阪市立大学准教授
高松日出男	機械実習	宮家興産㈱	段　智久	工業英語	神戸大学大学院准教授
徳永佳郎	環境工学	川崎重工㈱技術研究所	杉田英昭	工業英語	神戸大学名誉教授
	ロボット工学		高山敦好	情報基礎	

電気工学科

1.養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、実験等により基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと創造性も合わせ持ち、柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

2.教育の特徴

カリキュラムは、（1）電気材料、電子デバイス、（2）電気エネルギー、電気機器、電気設備、（3）コンピュータ、計測、制御、通信、を専門3本柱とし、これに一般科目、実験実習、学外実習、卒業研究を組み入れて構成されており、電気主任技術者の資格認定基準を満たしているだけでなく、現在の電気系学科に必要な分野をバランスよく持っている。このカリキュラムのもと基礎と実験実習とコミュニケーションを重視した少人数教育を行っている。実験実習ではレポート提出だけでなくディスカッションも取り入れ、また学外実習終了後は学内でも実習報告発表をしている。11研究室の卒業研究のキーワードは、「環境」「エネルギー」「ライフサイエンス」「ナノ材料」「ものづくり」「情報通信」など多彩である。学内で最低2度研究発表があるだけでなく、さらに学会や産学官技術フォーラムなど外部発表も積極的に行っている。在学中に電気主任技術者、基本情報技術者など各種国家資格を取ることをサポートしている。

主な実験実習室

ナノマテリアル実験室、ナノデバイス実験室、電力工学実験室1・2、電気機械実験室1・2、高電圧工学実験室、電気計測実験室、電子工学実験室1・2、制御工学実験室、通信工学実験室、電気応用実験室、情報演習室、医用画像工学実験室

主な設備

スパッタ装置、交流・直流発電機・電動機実験装置、9kW太陽光発電システム、熱発電試験装置、800kVインパルス高電圧発生装置、メカトロニスク実験装置、マイクロコンピュータ実験装置、気中オゾン・NOx分析装置、ラドン濃度測定装置、マルチチャネルアナライザ

教育課程

授業科目		単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用数学Ⅱ	2				2		
	電気数学Ⅰ	1		1				
	電気数学Ⅱ	1			1			
	応用物理	2				2		
	情報基礎	2	2					
	情報処理Ⅰ	2		2				
	情報処理Ⅱ	1			1			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅱ	2			2			
	電気磁気学Ⅲ	1				1		
	電気計測	2			2			
	電子工学	2			2			
	工業英語Ⅰ	1			1			
	半導体工学	2				2		
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	2				2		
	電気製図Ⅰ	1	1					
	電気製図Ⅱ	1		1				
	基礎電気工学	2	2					
	論理回路工学	2		2				
	計算機工学	2			2			
	電子回路Ⅰ	2				2		
	電子回路Ⅱ	2					2	
	制御工学	2				2		
	数値解析	2				2		
	電気材料	2					2	
	発変電工学	2					2	
	電気機器Ⅰ	1				1		
	電気機器Ⅱ	2				2		
	電気機器Ⅲ	1					1	
	送配電工学	2					2	
	パワーエレクトロニクス	1					1	
	電気工学実験実習	13		3	4	4	2	
	卒業研究	9					9	
	修得単位計	80	5	11	19	24	21	
選択科目	工業英語Ⅱ	2				2		
	放電現象	2				2		
	電気法規及び電気施設管理	2				2		
	学外実習	1				1		
	通信工学Ⅰ	2					2	
	通信工学Ⅱ	2					2	
	生体情報工学	2					2	
	開設単位計	13				7	6	
	修得単位計	6以上				4年生で2以上 4・5年生で6以上		
専門科目開設単位合計		93	5	11	19	31	27	
専門科目修得単位合計		86以上	5	11	19	26以上 4・5年生で51以上		
一般科目修得単位合計		81	27	24	17	8	5	
一般科目との合計修得単位		167以上	32	35	36	34以上 4・5年生で64以上		

教　員

職　名	氏　名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担 (研究室電話)
教　授 博士(工学)	下代雅啓	応用数学、電気回路Ⅱ、工業英語、電気工学実験実習 ※電磁解析	電磁界解析に基づくマイクロ波・光デバイスの設計及び特性解析に関する研究	795－3230
教　授 博士(工学)	山本誠一	生体情報工学、電気計測、電気工学実験実習 ※放射線計測	医用電子機器に関する研究、環境放射線測定装置に関する研究	795－3232
教　授 博士(工学)	森田二朗	情報基礎、電気磁気学Ⅰ、Ⅱ、電気法規、電気工学実験実習 ※光応用計測	GPSを利用した計測技術の研究、XOOPSモジュールの開発	795－3237
教　授 博士(工学)	津吉　彰	送配電工学、電気回路Ⅰ、Ⅲ、電気工学実験実習 ※エネルギー工学	熱電発電器の焼却施設への適用、色素増感太陽電池製作技術に関する研究	学科長 795－3234
教　授 博士(工学)	道平雅一	基礎電気工学、制御工学Ⅰ、パワーエレクトロニクス、電気工学実験実習 ※応用パワーエレクトロニクス	高周波電力変換装置に関する研究 パワーエレクトロニクス機器のノイズに関する研究	副専攻科長 795－3308
准教授 博士(工学)	佐藤徹哉	論理回路工学、電子回路Ⅰ、Ⅱ	モバイル機器を活用したICT応用教育工学に関する研究	E3担任 795－3236
准教授 博士(工学)	山本和男		風力発電システムの雷害対策に関する研究、電磁界解析手法を用いた大型建築物の過渡接地抵抗解析に関する研究	795－3239
准教授 博士(工学)	赤松　浩	情報処理Ⅰ、電子回路Ⅰ、電磁気学Ⅰ、放電現象、電気工学実験実習 ※高電圧工学	大気圧プラズマジェットシステムの試作に関する研究	教務副主事 795－3235
准教授 博士(工学)	加藤真嗣	電気機器Ⅰ、Ⅱ、電気工学実験実習 ※数理工学Ⅱ	風力発電システムに関する研究、パワーエレクトロニクスシミュレーションに関する研究	E5担任 795－3238
講　師 博士(工学)	市川和典	半導体工学、電気材料、電子工学、電気工学実験実習 ※先端半導体デバイス	ナノドットをフローティングゲートとする薄膜トランジスタ型フラッシュメモリの研究	E4担任 795－3233
助　教 博士(工学)	中村佳敬	情報基礎、情報処理1応用数学 電気工学実験実習	電磁波によるリモートセンシング及び地球環境のモニタリングに関する研究	795－3231

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏　名	担当科目	現　職　等
藤井富朗	発変電工学 応用物理Ⅱ 実験実習	神戸高専名誉教授
芝田　道	通信工学 実験実習	(有)イーアンドアイ 代表取締役
土井直祐	情報基礎	神戸工科高校教諭

氏　名	担当科目	現　職　等
宝角敬一	電気数学 電気製図Ⅰ ※応用電気回路学	元茨木高専教授
松田忠重	実験実習 数値解析 計算機工学	神戸高専名誉教授

電子工学科

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、エレクトロニクスの基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと創造性も合わせ持ち、多種多様な課題を解決できる実践的技術者を養成する。

2．教育の特徴

エレクトロニクス（電子工学）はまさに現在の高度情報化社会を支えている学問分野である。電話に始まり、ラジオ、テレビ、レーザ、ロボット、コンピュータ、情報ネットワークなど電子工学の応用製品は次々と人々の夢を実現してきた。電子工学科では、今後もますます多様化、高度化していくであろうエレクトロニクス分野の第一線で活躍できるように、電気電子系基礎科目をベースに物性・デバイス系科目、計測・制御系科目、情報・通信系科目をバランスよく配置した5年間の系統的なカリキュラムで学ぶことができる。また電子工学科には、情報（コンピュータのハードウェアとソフトウェア）、通信、計測、制御、半導体、音響、光エレクトロニクスなどの実験を行うための設備をもった多くの実験室があり、実験実習、学外実習、卒業研究などを通して、実践的で独創的な開発研究能力を有するエンジニアの養成を目指している。

主な実験実習室

電子基礎実験室、デバイス工学実験室、音響工学実験室、光電子工学実験室、電子制御実験室、電子計測実験室、計算機工学実験室、情報工学実験室、ソフトウェア工学実験室、電子工学実験室、通信工学実験室、電子応用実験室、プラズマ実験室、バーチャルリアリティ実験室、工作室

主な設備

マニュアルプローバ、周波数特性直視装置、スペクトラムアナライザ、FFT サーボアナライザ、画像処理実験装置、真空蒸着装置、酸化・拡散・CVD 炉、マスクアライメント装置、ダイシングソー、超音波ボンダ、球面光束計、プラズマ生成装置、仮想空間構築システム、フレキシブルアーム制御実験装置、エンターテイメントロボット、無響室

教育課程

授業科目		単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気数学	2			2			
	応用数学	2				2		
	応用物理	2				2		
	情報基礎	2	2					
	プログラミングⅠ	2		2				
	プログラミングⅡ	2			2			
	ソフトウェア工学	2				2		
	数値解析	2				2		
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気磁気学Ⅱ	2				2		
	電子デバイス	2			2			
	電子工学序論	2	2					
	半導体工学	2				2		
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	2				2		
	計測工学	2			2			
	電子計測	2				2		
	論理回路	2		2				
	コンピュータ工学	2			2			
	電子回路Ⅰ	2				2		
	電子回路Ⅱ	2					2	
	通信方式	2				2		
	情報通信ネットワーク	2					2	
	情報理論	2					2	
	制御工学Ⅰ	2				2		
	制御工学Ⅱ	2					2	
	電子工学実験実習	18	2	4	4	4	4	
	卒業研究	9					9	
	修得単位計	81	6	10	18	26	21	
選択科目	学外実習	1				1		
	工業英語	2					2	
	電子応用	2					2	
	光エレクトロニクス	2					2	
	画像処理	2					2	
	コンピュータアーキテクチャ	2					2	
	開設単位計	11				1	10	
	修得単位計	5以上				4・5年で5以上		
専門科目開設単位合計		92	6	10	18	27	31	
専門科目修得単位合計		86以上	6	10	18	26以上 4・5年で52以上		
一般科目修得単位合計		81	27	24	17	8	5	
一般科目との合計修得単位		167以上	33	34	35	34以上 4・5年で65以上		

教　員

職　名	氏　名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担 (研究室電話)
教　授 工学修士	若林　茂	プログラミングⅠ、ソフトウエア工学、電子工学実験実習 ※アルゴリズムとデータ構造	情報処理教育教授法、プログラミング教育支援システム	学科長 795－3244
教　授 工学修士	笠井正三郎	制御工学Ⅱ、応用数学、電子工学実験実習　※システム制御工学	システム制御理論とその応用、フレキシブル・アームの制御	総合情報センター長 795－3245
教　授 博士(工学)	荻原昭文	電気回路Ⅰ、電気回路Ⅲ、光エレクトロニクス、電子工学実験実習 ※光波電子工学	有機複合体材料を用いたホログラム形成と光情報処理応用化技術	D5担任 795－3241
教　授 博士(工学)	橋本好幸	電気磁気学Ⅰ、電子工学実験実習 ※プラズマ工学	プラズマの発生とその応用、バーチャルリアリティ	教務主事(研究担当)、専攻科長 795－3248
准教授 博士(工学)	戸崎哲也	プログラミングⅡ、画像処理、電子工学実験実習 ※コンピュータグラフィクス	FDG-PETを用いた全身がん計算機診断に関する研究	総合情報副センター長 795－3246
准教授 博士(工学)	西　敬生	電子デバイス、半導体工学、電子工学実験実習　※光物性工学	化合物半導体の結晶成長と光学的評価技術	795－3249
准教授 博士(工学)	小矢美晴	電子回路Ⅱ、通信方式、電子工学実験実習　※ディジタル信号処理	ME及び防犯カメラを用いた信号処理に関する研究	学生副主事 795－3250
准教授 博士(工学)	藤本健司	情報基礎、情報通信ネットワーク、電子工学実験実習 ※シミュレーション工学	脳感覚系における機能・機構の解明およびモデル化に関する研究、e-learningツールの開発	専攻主任 795－3243
准教授 博士(工学)	長谷芳樹	電子回路Ⅰ、電子工学序論、電子工学実験実習	音波伝搬シミュレーション、音環境評価、音刺激聴取時の脳活動計測	795－3247
講　師 博士(工学)	尾山匡浩	電気回路Ⅱ、コンピュータアーキテクチャ、電子工学実験実習	生体信号を用いたインタフェース、統計的パターン認識手法に関する研究	D4担任 795－3242

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏　名	担当科目	現　職　等	氏　名	担当科目	現　職　等
金　寛	数値解析	大阪大学助教	山口秀樹	電子応用 電気数学	立命館大学助教
細川篤	電子計測	明石高専准教授	木津久美子	工業英語	
廣友雅徳	情報理論	神戸大学助教	橘　亮輔	論理回路 コンピュータ工学	
佐伯崇	電子工学 実験実習	SDNコーポレーション 代表	林　昭博	応用物理 電子工学実験実習	神戸高専名誉教授

応用化学科

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を理解し、新しい物質作りに応用できる基礎学力を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

2．教育の特徴

化学工業は物質の基本的仕組みや性質を理解し、その知識に基づいて物質を造ったり利用したりする素材産業です。近年、エレクトロニクス、バイオテクノロジー、エネルギー関連の先端技術分野では、新しい機能を有する素材の開発という面からその必要性が強く求められています。この要請に応えるため、応用化学科では学習教育目標に掲げている５つの分野（有機化学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学、生物工学）をコアとし、それら分野の有機的なつながりに配慮したカリキュラムを編成しています。またこれら５つの分野を学ぶにあたり必要不可欠な基礎としての情報技術や先端分野として着目されているエネルギー、新素材関連、環境問題なども取り入れています。また上記各分野の実験を１年生から数多く開講しており、座学で学んだ内容について実際に実験を通して確かめ体験することにより理解を深め、社会で活躍できる実践的な技術者の養成を目指しています。

主な実験実習室

化学工学１・２実験室、物理化学実験室、応用化学実験室、分析化学実験室、無機化学実験室、有機化学実験室、計測機器室、生物工学実験室、生物物理化学実験室

主な設備

核磁器共鳴装置（FT-NMR）、フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）、ダブルビーム分光光度計、Ｘ線回析装置、原子吸光分光光度計、熱分析システム、ガスクロマトグラフ装置、高速液体クロマトグラフ装置、生物顕微鏡装置、精密精留装置、熱伝達率測定装置

教育課程

	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用数学Ⅱ	2				2		
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	情報基礎	2	2					
	情報処理Ⅰ	1			1			
	情報処理Ⅱ	1				1		
	無機化学Ⅰ	2		2				
	無機化学Ⅱ	2			2			
	応用無機化学Ⅰ	2					2	
	有機化学Ⅰ	2		2				
	有機化学Ⅱ	2			2			
	応用有機化学Ⅰ	2					2	
	有機合成化学	2				2		
	高分子化学	2				2		
	材料化学	2					2	
	物理化学Ⅰ	2				2		
	物理化学Ⅱ	2					2	
	分析化学Ⅰ	2		2				
	分析化学Ⅱ	2			2			
	化学工学Ⅰ	2			2			
	化学工学Ⅱ	2				2		
	化学工学量論	2					2	
	生物工学	1				1		
	生物化学Ⅰ	2				2		
	品質管理	1					1	
	図学・製図	1			1			
	プロセス設計	2					2	
	化学英語	1				1		
	機械工学概論	1					1	
	電気工学概論	1					1	
	基礎化学実験	4	4					
	応用化学実験Ⅰ	4		4				分析化学 無機化学
	応用化学実験Ⅱ	4			4			有機化学 物理化学
	応用化学実験Ⅲ	4				4		化学工学 生物化学 分析化学
	卒業研究	10					10	
	修得単位計	80	6	10	16	23	25	
選択科目	学外実習	1				1		
	応用有機化学Ⅱ	2					2	
	応用無機化学Ⅱ	2					2	
	エネルギー工学	2					2	
	環境化学	2					2	
	生物化学Ⅱ	2					2	
	開設単位計	11				1	10	
	修得単位計	6				4・5年で6以上		
専門科目開設単位合計		91	6	10	16	24	35	
専門科目修得単位合計		86以上	6	10	16	23以上 4・5年で54以上		
一般科目修得単位合計		81	28	24	16	8	5	
一般科目との合計修得単位		167以上	34	34	32	31以上 4・5年で67以上		

教　員

職　名	氏　名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担 (研究室電話)
教　授 博士(工学)	松井哲治	無機化学Ⅱ、応用化学実験Ⅰ、分析化学Ⅰ、応用無機化学Ⅰ ※高分子材料化学Ⅱ	超臨界水によるプラスチックス廃棄物の分解および資源化	795－3257
教　授 工学博士	杉　廣志	化学工学Ⅰ、Ⅱ、化学工学量論、応用化学実験Ⅲ ※分離工学	流体の熱力学的性質、拡散分離操作	学科長 795－3252
教　授 博士(工学)	根津豊彦	分析化学Ⅱ、環境化学、応用化学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ　※大気環境化学	大気環境化学	795－3434
教　授 博士(工学)	大淵真一	有機化学Ⅰ、応用化学実験Ⅱ、有機合成化学、応用化学実験Ⅲ ※有機金属化学	有機金属錯体の合成と立体特性に関する研究	学生主事 795－3258
准教授 博士(理学)	九鬼導隆	応用物理Ⅰ、Ⅱ、応用化学実験Ⅱ、応用化学実験Ⅲ、物理化学Ⅱ、応用物理Ⅰ、※量子物理　※物理有機化学	光合成色素の励起状態の物理化学	専攻主任 795－3254
准教授 博士(理学)	渡辺昭敬	応用化学実験Ⅱ、応用物理Ⅰ、Ⅱ、物理化学Ⅰ、Ⅱ ※化学反応論	分子の内部自由度が化学反応に与える影響	C5担任 795－3261
准教授 博士(理学)	宮下芳太郎	無機化学Ⅰ、Ⅱ、応用化学実験Ⅰ、Ⅲ　※無機合成化学　※エンジニアリングデザイン演習	金属錯体の立体選択性に関する基礎研究	総合情報センター副センター長 795－3256
准教授 博士(工学)	根本忠将	応用有機化学Ⅱ、高分子化学、基礎化学実験、応用化学実験Ⅱ ※高分子材料化学Ⅰ	新しい高機能性高性能性高分子の合成および高分子複合体への応用	C2担任 795－3260
准教授 博士(工学)	小泉拓也	有機化学Ⅱ、有機合成化学、応用有機化学Ⅰ、応用化学実験Ⅱ ※有機反応機構論	不安定中間体を鍵とする新規有機化合物の合成と応用	教務副主事 795－3259
准教授 博士(農学)	下村憲司朗	生物化学Ⅰ、生物工学、基礎化学実験、応用化学実験Ⅲ ※分子生物学Ⅰ、Ⅱ	マメ科植物一根粒菌共生に関する遺伝子の検索	C4担任 795－3253

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏　名	担当科目	現　職　等
棚瀬繁雄	※電気化学	元法人主任研究員
黒田裕美子	情報処理Ⅰ	大学非常勤講師
米田昭夫	エネルギー工学	元兵庫県立大学教授
今村秀樹	品質管理	元兵庫県立大学教授
芝田道	電気工学概論	イーアンドアイ代表取締役
斎藤夏美	生物化学Ⅱ	神戸大学理学研究科
鈴木洋	化学工学Ⅰ	神戸大学教授

氏　名	担当科目	現　職　等
松本久司	応用無機化学Ⅱ、材料化学	元神戸高専教授
大村直人	※移動現象論	神戸大学教授
三木秀雄	プロセス設計	クリスタルエンジ専務取締役
増田興司	応用化学実験Ⅲ	神戸大学工学研究科
松本剛昭	物理化学Ⅱ	兵庫県立大学助教
古瀬順彦	情報基礎	神戸大学工学研究科

都市工学科

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関連する科目に重点を置き、豊かな一般教養のもと、自然を活かした人間に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。

2.教育の特徴

都市工学科（Department of Civil Engineering）では、都市（まち）の「環境」やその保全について学び、また人々が暮らす安全・快適で美しい「都市空間」をデザインする方法、いろいろな災害から都市を守る「防災」などの基礎的な工学について学ぶ。

都市工学は英語でCivil Engineering（市民工学）と表わされる。私たち市民が安全で快適な生活をするためには道路、鉄道などの交通施設、上・下水道、電気、ガス、通信設備など生活を支えるライフラインといわれる多くの施設が必要である。都市（まち）や国土全体の観点から夢のある未来を描き、社会の基盤を計画・設計・建設・保全していくのが都市工学の役目である。

地球環境や都市環境を考えながら、私たちの身近な生活を基本的なところで支え、都市（まち）を災害から守り、人々が憩う公園・公共空間や快適な都市空間を造る基本的な技術を習得し、それらを社会において実践できる技術者の育成を目指している。

主な実験実習室

測量学実習室、材料実験室１・２、構造実験室、土質工学実験室、衛生工学実験室、水理実験室、計画学実験室、製図室、情報処理室

主な設備

圧密試験機、万能試験機、自動運転式コンクリート凍結融解試験機、小型遠心力模型実験装置、GPS測量機、光波タキオメーター、パーソナル画像解析システム、ワークステーション、簡易振動台、静・動ひずみ測定器、加速度計、FFTアナライザー、データレコーダー、エンジニアリングワークステーション、不規則波対応二次元造波水槽、開水路・急勾配水路・管水路、マルチ三軸圧縮試験機、岩石・鉱物標本薄片作製ユニット、デジタル水質分析装置、活性汚泥浄化反応実験装置、小型テストベッド、クレーン、載荷フレーム、小型起振機

教育課程

	授業科目	単位数	学年別配当 1年	2年	3年	4年	5年	備考
必修科目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用数学Ⅱ	2				2		
	応用物理	2				2		
	環境生態	2					2	
	構造力学Ⅰ	2		2				
	構造力学Ⅱ	2			2			
	構造力学Ⅲ	2				2		
	構造力学Ⅳ	1					1	
	水理学	5			3	2		
	土質力学Ⅰ	2			2			
	土質力学Ⅱ	2				2		
	土質力学Ⅲ	1					1	
	コンクリート工学	3			2	1		
	材料学	2		2				
	施工管理学	1					1	
	橋梁工学	2				2		
	建築計画	1					1	
	情報基礎	2	2					
	情報処理	2		2				
	ＣＡＤ基礎	1			1			
	情報数値解析	1				1		
	数理計画学	2				2		
	測量学	5	2	1	1	1		
	都市環境工学Ⅰ	1					1	
	都市環境工学Ⅱ	1					1	
	環境水工学Ⅰ	1				1		
	環境水工学Ⅱ	1				1		
	都市交通計画学	1					1	
	都市システム工学	1			1			
	土木・建築設計製図Ⅰ	1			1			
	土木・建築設計製図Ⅱ	1			1			
	土木・建築設計製図Ⅲ	1				1		
	土木・建築設計製図Ⅳ	1					1	
	工業英語	1					1	
	環境基礎化学	1				1		
	都市工学実験実習	12	2	2	3	2	3	
	卒業研究	8					8	
	修得単位計	79	6	9	17	25	22	
選択科目	学外実習	1				1		
	建設都市法規	2					2	
	都市情報工学	2					2	
	環境経営学	2					2	
	防災工学	2					2	
	景観工学	2					2	
	応用ＣＡＤ	1				1		
	建築施工学	2				2		
	開設単位計	14				4	10	
	修得単位計	7以上				4・5年で7以上		
専門科目開設単位合計		93	6	9	17	29	32	
専門科目修得単位合計		86以上	6	9	17	25以上 4・5年で54以上		
一般科目修得単位合計		81	27	24	17	8	5	
一般科目との合計修得単位		167以上	33	33	34	33以上 4・5年で67以上		

教　員

職　名	氏　名	担当科目	現在の主な研究テーマ	校務分担 (研究室電話)
教　授 工学博士	橋本渉一	都市システム工学、数理計画学、交通システム工学、設計製図、都市工学実験実習　※交通計画　※都市計画	市街地形成、環境と公共交通、市街地の景観、軌道と車両の相互作用	学科長 795－3268
教　授 工学士	中尾幸一	測量学、都市工学実験実習、都市情報工学、設計製図	衛星画像の活用法、地理情報システム	795－3264
教　授 工学博士	酒造敏廣	構造力学Ⅰ、橋梁工学、構造力学Ⅱ、都市工学実験実習 ※構造解析	地震動を受ける鋼骨組構造物の動的崩壊性状と耐震設計法	S4担任 795－3263
教　授 工学博士	辻本剛三	水理学、都市工学実験実習 ※海岸工学 ※応用水理学	海岸侵食対策、海岸環境の評価、海岸構造物、津波災害	S5担任 795－3266
教　授 博士(工学)	山下典彦	土質力学、都市工学実験実習、応用数学Ⅱ ※耐震工学　※応用防災工学	基礎・地盤・構造物系の動的相互作用、表面波探査法に関する研究	専攻主任 795－3267
准教授 工学修士	高科豊	コンクリート工学、材料学、設計製図、都市工学実験実習 ※コンクリート診断学	凍結融解環境下のコンクリート品質評価、コンクリート診断、コンクリート景観評価、ニューラルネットワークによるコンクリート劣化予測シミュレーション	795－3272
准教授 博士(工学)	柿木哲哉	都市工学実験実習、都市環境工学Ⅰ、環境水工学Ⅱ ※水辺環境学　※数値流体力学	画像解析を用いた波打ち帯の分級機構の解明、浮体構造物を用いた海浜地形の修復	教務副主事 795－3270
准教授 博士(工学)	上中宏二郎	構造力学Ⅰ、構造力学Ⅱ、都市工学実験実習 ※コンクリート構造、※複合構造	軽量化した鋼・コンクリート合成床版の実用化に関する研究 中空式二重鋼管・コンクリート合成部材の終局強度に関する研究、コンクリートの終局強度に及ぼす粗骨材の影響	S3担任 795－3540
准教授 博士(工学)	宇野宏司	水理学、環境生態、都市工学実験実習、防災工学 ※水辺環境学　※河川工学	河口干潟・砂州の形成要因の検討、河川・沿岸生態系・環境把握に係る現地調査、地域防災	学年副主事 795－3265
講　師 博士(工学)	亀屋恵三子	休職中	難病者の療養場面にみる住領域 療護施設における難病者の療養環境	795－3271

※は、専攻科の開講科目

非常勤講師

氏　名	担当科目	現　職　等
芝田　道	応用物理	イーアンドアイ 代表取締役
中山　学	材料学	防災科学技術研究所 招聘研究員
嶋津　巌	都市交通計画学	阪神高速道路㈱課長
中津功一郎	情報基礎 情報処理	関西大学研究員
中西　宏	CAD基礎 情報数値解析 応用物理	元神戸高専教授
中谷年成	測量学	好永住宅取締役
玉井昌宏	環境水工学Ⅰ 環境経営学	大阪大学准教授
中川知和	応用数学Ⅰ	神戸製鋼所研究主席
持田文弘	実験(土質)	応用地質Gリーダー

氏　名	担当科目	現　職　等
稲生智則	環境基礎化学	播磨環境リサーチ課長
室崎千重	デザイン工学	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所　特別研究員
松永あゆみ	工業英語	大阪樟蔭女子大非常勤講師
小走　薫	設計製図	コスモ技研技師長
藤原隆一	設計製図	東洋建設研究所 副所長
浅見雅之	実験 (デザイン)	人・まち・すまい研究所　代表
山﨑義人	応用CAD 景観工学	兵庫県立人と自然の博物館研究員
三村裕一	建設法規	神鋼不動産ビルサービス㈱取締役
中村　豊	都市環境工学Ⅱ	未来環境理事長
村瀬佐太美	施工管理学	ＬＬＰ技術アドバイザー

機械システム工学専攻

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、計測技術、電気電子応用技術、加工技術、設計法等の専門技術を習得し、培われた一般教養のもと、設計や製作において複合的視点で思考、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

2．教育の特徴

専攻科課程では、準学士課程で身につけた専門の基礎を元にさらに2年間精深で広範な専門教育を施すことにより、自らが技術的課題を発見し解決することができる柔軟な思考力・創造力および鋭い洞察力を持つ開発型技術者の養成を目指している。座学において、専門分野をより深めた応用的内容を教授し、より高度で幅広い理論と技術を習得させるとともにその科学的思考力を養っている。専攻科ゼミナールや2年間の専攻科特別研究において、少人数教育による自発的学習を促し、さらに調査・研究能力を高め、複合的視点で自ら問題を発見し、機械システムを解析的・総合的に解決できる開発型技術者を養成している。また、プレゼンテーション形式の授業を一部で取り入れ、コミュニケーション力のさらなる向上をはかっている。これらの総まとめとして、各種の学会で多くの機械システム工学専攻学生が発表している。

教育課程

（注）備考欄に※を付した科目の中2科目以上を、◎を付した科目の中1科目以上を修得すること。

区分			授業科目	単位数	学年別配当				備考
					第1学年		第2学年		
					前期	後期	前期	後期	
一般教養科目		必修	現代思想文化論	2	2				
			コミュニケーション英語	1	1				
			必修科目単位計	3	3				
		選択	哲学特講	2				2	
			地域学	2			2		
			時事英語	2		2			
			英語講読	2	2				
			応用倫理学	2			2		
	一般教養科目開設単位計			13	5	2	4	2	
	一般教養科目修得単位計			8	単位以上を修得				
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2			2		
			シミュレーション工学	2		2			
			必修科目単位計	4		2	2		
		選択	数理工学Ⅰ	2		2			※
			数理工学Ⅱ	2			2		※
			数理統計	2		2			※
			数値流体力学	2			2		
			量子物理	2	2				※
			技術史	2			2		
			技術英語	2		2			
			選択科目開設単位計	14	2	6	6		
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1				1	
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2				
			専攻科ゼミナールⅡ	2			2		
			専攻科特別研究Ⅰ	7	3	4			
			専攻科特別研究Ⅱ	8			3	5	
			必修科目開設単位計	20	5	4	5	6	
		選択	専攻科特別実習	2	2				
			レーザー工学	2	2				※
			X線工学	2		2			※
			弾性力学	2	2				◎
			流れ学	2			2		
			熱機関論	2		2			
			知的材料解析	2	2				◎
			成形加工学	2			2		
			システム制御理論Ⅰ	2		2			
			システム制御理論Ⅱ	2			2		
			振動・波動論	2			2		※
			制御工学	2	2				
			応用ロボット工学	2		2			
			航空工学概論	2		2			
			トライボロジー	2	2				
			破壊力学	2		2			◎
			熱・物質移動論	2			2		
			熱流体計測	2		2			
			切削工学	2		2			
			選択科目開設単位計	38	12	16	10		
	専門科目開設単位合計			76	19	28	23	6	
	専門科目修得単位合計			46	単位以上を修得				
一般教養・専門科目開設単位合計				89	24	30	27	8	
一般教養・専門科目修得単位合計				62	単位以上を修得				

電気電子工学専攻

1.養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、エレクトロニクス、実験等により専門技術を習得し、培われた一般教養のもと、柔軟な思考ができ、複合的視点で創造、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成します。

2.教育の特徴

高専の電気工学、電子工学系学科の卒業生に対して、さらに2年間精深かつ広範な専門教育を行うことにより、独創性を持つ研究開発技術者の育成を目指します。最近の電気電子工学分野のめざましい発展は、私たちの生活を豊かで便利なものにしてきました。その中心をなすエネルギーや情報関連の新技術の開発はますます重要性を増してきています。また、それらを支える材料、半導体、計測、制御などの技術分野の開発も重要です。

本専攻では、このような分野に関連する科目を適宜配置し、高専本科での教育を基礎として、より高度な内容を教授します。また、実験やゼミナール等を取り入れ、実践的教育も重視しています。さらに基礎的な技術教育のうえに、先端技術に関する研究テーマを個別に設定し、研究の計画立案から学会での成果 報告まできめ細かい指導を行うことにより、研究開発能力の育成をはかります。

教育課程

(注) 備考欄に※を付した科目の中2科目以上を修得すること。

区分			授業科目	単位数	学年別配当				備考
					第1学年		第2学年		
					前期	後期	前期	後期	
一般教養科目		必修	現代思想文化論	2	2				
			コミュニケーション英語	1	1				
			必修科目単位計	3	3				
		選択	哲学特講	2				2	
			地域学	2			2		
			時事英語	2		2			
			英語講読	2	2				
			応用倫理学	2			2		
		一般教養科目開設単位計		13	5	2	4	2	
		一般教養科目修得単位計		8	単位以上を修得				
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2			2		
			シミュレーション工学	2		2			
			必修科目単位計	4		2	2		
		選択	数理工学Ⅰ	2		2			※
			数理工学Ⅱ	2			2		※
			数理統計	2		2			※
			数値流体力学	2			2		
			量子物理	2	2				※
			技術史	2			2		
			技術英語	2		2			
			選択科目開設単位計	14	2	6	6		
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1				1	
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2				
			専攻科ゼミナールⅡ	2			2		
			専攻科特別研究Ⅰ	7	3	4			
			専攻科特別研究Ⅱ	8			3	5	
			必修科目開設単位計	20	5	4	5	6	
		選択	専攻科特別実習	2	2				
			電磁解析	2	2				
			プラズマ工学	2			2		
			照明工学	2			2		
			エネルギー工学	2			2		
			高電圧工学	2	2				
			光波電子工学	2	2				
			光物性工学	2	2				
			光応用計測	2	2				
			先端半導体デバイス	2		2			
			放射線計測	2	2				
			システム制御工学	2		2			
			応用電気回路学	2		2			
			ディジタル信号処理	2	2				
			フーリエ変換技術	2		2			※
			アルゴリズムとデータ構造	2		2			
			コンピュータグラフィクス	2		2			
			応用パワーエレクトロニクス	2	2				
			選択科目開設単位計	36	18	12	6		
	専門科目開設単位合計			74	25	24	19	6	
	専門科目修得単位合計			46	単位以上を修得				
一般教養・専門科目開設単位合計				87	30	26	23	8	
一般教養・専門科目修得単位合計				62	単位以上を修得				

応用化学専攻

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を十分理解し、新しい物質作りに応用できる専門学力を習得し、培われた一般教養のもと柔軟な思考ができ、複合的視点で創造、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型的技術者を養成する。

2.教育の特徴

応用化学専攻では準学士過程においてコアとした５つの専門分野（有機化学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学、生物工学）の学習教育目標をより高いレベルに到達させるために、将来の応用力や他教科との関連を意識した専門性豊かなカリキュラム編成となっています。また、少人数でのゼミナールによって英語論文に馴染ませたり、2年間にわたる専攻科特別研究の成果を関連学会や産学官技術フォーラムで発表させたりするなどして、研究開発能力とコミュニケーション能力の向上に努めています。さらに、他専攻の専門教科の受講や実験実習の実施による幅広い分野の知識の習得、専攻科特別実習（インターンシップ）による企業や大学における先端技術への接触などが行えるカリキュラム編成となっています。これらを通じて専攻科の養成すべき人物像（複合的視点で創造、問題発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型的技術者）の実現を目指します。

教育課程

（注）備考欄に※を付した科目の中１科目以上を修得すること。

区分			授業科目	単位数	学年別配当				備考
					第１学年		第２学年		
					前期	後期	前期	後期	
一般教養科目		必修	現代思想文化論	2	2				
			コミュニケーション英語	1	1				
			必修科目単位計	3	3				
		選択	哲学特講	2				2	
			地域学	2			2		
			時事英語	2		2			
			英語講読	2	2				
			応用倫理学	2			2		
	一般教養科目開設単位計			13	5	2	4	2	
	一般教養科目修得単位計			8	単位以上を修得				
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2			2		
			シミュレーション工学	2		2			
			必修科目単位計	4		2	2		
		選択	数理工学Ⅰ	2		2			※
			数理工学Ⅱ	2			2		※
			数理統計	2		2			※
			数値流体力学	2			2		
			量子物理	2	2				※
			技術史	2			2		
			技術英語	2		2			
			選択科目開設単位計	14	2	6	6		
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1				1	
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2				
			専攻科ゼミナールⅡ	2			2		
			専攻科特別研究Ⅰ	7	3	4			
			専攻科特別研究Ⅱ	8			4	4	
			必修科目開設単位計	20	5	4	6	5	
		選択	専攻科特別実習	2	2				
			高分子材料化学Ⅰ	2		2			
			高分子材料化学Ⅱ	2			2		
			化学工学熱力学	2		2			
			有機金属化学	2		2			
			物理有機化学	2		2			
			分離工学	2			2		
			無機合成化学	2	2				
			大気環境化学	2		2			
			電気化学	2			2		
			化学反応論	2		2			
			分子生物学Ⅰ	2	2				
			分子生物学Ⅱ	2			2		
			移動現象論	2	2				
			有機反応機構論	2	2				
			選択科目開設単位計	30	10	12	8		
	専門科目開設単位合計			68	17	24	22	5	
	専門科目修得単位合計			46	単位以上を修得				
一般教養・専門科目開設単位合計				81	22	26	26	7	
一般教養・専門科目修得単位合計				62	単位以上を修得				

（注）備考欄に※を付した科目中１科目以上を修得すること。

都市工学専攻

1．養成すべき人材像

数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関連する専門技術に重点を置き、培われた一般教養のもと、柔軟な思考ができ、複合的視点で課題の発見、問題解決ができる創造性豊かな開発型技術者を養成する。

2．教育の特徴

都市工学専攻（Department of Civil Engineering）では、都市（まち）の「環境」やその保全、人々が暮らす安全・快適で美しい「都市空間」をデザインする方法、災害から都市を守る「防災」などの応用的な工学について学ぶ。

神戸市は緑豊かな六甲山系を抱え、温暖な瀬戸内海に面し、東西に長い地域に街が形成されている。21世紀に向けた都市（まち）造りには、恵まれた自然環境を充分に活用する必要がある。自然環境は土砂災害、地震、高潮などの自然災害の源ともなり、また急速な都市化は新たな都市災害を生じることにもなる。今後は防災機能を備え、少子・高齢化社会、福祉社会に対応した豊かな自然環境を織り込んだ都市（まち）造りが期待されている。

従来の土木工学、環境工学を基礎とし本科で習得した専門的知見に加え、防災、水圏・地圏における環境保全、自然や市民に配慮した街作りに関連する教育・研究を行うことにより、自ら課題の発見・解決できる技術者の育成を目指している。

教育課程

（注）備考欄に※を付した科目の中２科目以上を修得すること。

区分			授業科目	単位数	学年別配当				備考
					第１学年		第２学年		
					前期	後期	前期	後期	
一般教養科目		必修	現代思想文化論	2	2				
			コミュニケーション英語	1	1				
			必修科目単位計	3	3				
		選択	哲学特講	2				2	
			地域学	2			2		
			時事英語	2		2			
			英語講読	2	2				
			応用倫理学	2			2		
	一般教養科目単位計			13	5	2	4	2	
	一般教養科目修得単位計			8	単位以上を修得				
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2			2		
			シミュレーション工学	2		2			
			必修科目単位計	4		2	2		
		選択	数理工学Ⅰ	2		2			※
			数理工学Ⅱ	2			2		※
			数理統計	2		2			※
			数値流体力学	2			2		
			量子物理	2	2				※
			技術史	2			2		
			技術英語	2		2			
			選択科目開設単位計	14	2	6	6		
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1				1	
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2				
			専攻科ゼミナールⅡ	2			2		
			専攻科特別研究Ⅰ	7	3	4			
			専攻科特別研究Ⅱ	8			4	4	
			必修科目開設単位計	20	5	4	6	5	
		選択	専攻科特別実習	2	2				
			構造解析	2	2				
			複合構造	2		2			
			海岸工学	2		2			
			河川工学	2		2			
			応用水理学	2		2			
			応用防災工学	2		2			
			基礎工学	2	2				
			耐震工学	2	2				
			交通計画	2		2			
			都市計画	2	2				
			コンクリート構造	2	2				
			水辺環境学	2		2			
			コンクリート診断学	2	2				
			選択科目開設単位計	28	14	14			
	専門科目開設単位合計			66	21	26	14	5	
	専門科目修得単位合計			46	単位以上を修得				
一般教養・専門科目開設単位合計				79	26	28	18	7	
一般教養・専門科目修得単位合計				62	単位以上を修得				

学 生 の 概 況

学　科

■定員及び現員

平成23年4月7日現在

学　科	定　員	現員					計
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
機械工学科	80	81(5)	83(3)	78(2)	80(0)	77(1)	399(11)
電気工学科	40	40(5)	41(1)	43(2)	37(0)	40(2)	201(10)
電子工学科	40	40(6)	40(5)	41(4)	43(2)	34(2)	198(19)
応用化学科	40	40(7)	41(12)	40(17)	40(15)	41(13)	202(64)
都市工学科	40	41(7)	41(10)	39(9)	41(9)	40(8)	202(43)
計	240	242(30)	246(31)	241(34)	241(26)	232(26)	1,202(147)

■入学志願状況（過去5年間）

学科（定員）＼年度		19	20	21	22	23
機械工学科	推薦志願者	72(3)	95(2)	70(1)	53(1)	75(4)
	学力志願者	129(3)	136(2)	117(1)	112(2)	135(4)
	学力受検者	101(1)	104(2)	83(0)	88(2)	97(1)
	合　格　者	80(2)	80(0)	80(2)	80(3)	80(5)
(80)	倍　　率	1.6	1.7	1.5	1.4	1.7
電気工学科	推薦志願者	26(2)	42(1)	40(2)	39(1)	33(5)
	学力志願者	45(2)	70(4)	78(3)	60(2)	47(6)
	学力受検者	28(1)	54(4)	66(1)	42(1)	34(4)
	合　格　者	40(2)	40(0)	40(2)	40(1)	40(5)
(40)	倍　　率	1.2	1.8	2.0	1.5	1.2
電子工学科	推薦志願者	49(3)	48(4)	47(5)	47(4)	49(5)
	学力志願者	80(4)	80(7)	81(6)	84(7)	78(9)
	学力受検者	62(3)	65(6)	65(4)	68(5)	61(6)
	合　格　者	40(2)	40(3)	40(4)	40(5)	40(6)
(40)	倍　　率	2.0	2.0	2.1	2.1	2.0
応用化学科	推薦志願者	41(16)	56(21)	57(21)	48(14)	42(9)
	学力志願者	81(21)	85(31)	69(25)	76(20)	64(15)
	学力受検者	65(13)	69(26)	51(15)	58(15)	46(11)
	合　格　者	40(15)	40(15)	40(16)	40(12)	40(7)
(40)	倍　　率	2.0	2.1	1.7	1.9	1.6
都市工学科	推薦志願者	29(5)	35(8)	24(8)	31(4)	19(5)
	学力志願者	60(11)	72(13)	48(10)	59(9)	42(9)
	学力受検者	47(7)	59(6)	33(4)	46(6)	34(6)
	合　格　者	40(8)	40(11)	40(9)	40(10)	40(7)
(40)	倍　　率	1.5	1.8	1.2	1.5	1.1
合　　計	推薦志願者	217(29)	276(36)	238(37)	218(24)	218(28)
	学力志願者	395(41)	443(57)	393(45)	391(40)	366(43)
	学力受検者	303(25)	351(44)	298(24)	302(29)	272(28)
	合　格　者	240(29)	240(29)	240(33)	240(31)	240(30)
(240)	倍　　率	1.7	1.9	1.6	1.6	1.5

（　）内は女子で内数

■編入学志願状況（過去５年間）

学科	区分	年度 19		20		21		22		23	
		工業科	普通科	工業科	普通科	工業科	普通科	工業科	普通科	工業科	普通科
		合計		合計		合計		合計		合計	
機械工学科	志願者	4	0	3	1	1	0	2	0	7	0
		4		4		1		2		7	
	合格者	1	0	2	0	0	0	2	0	4	0
		1		2		0		2		4	
電気工学科	志願者	4	0	3	0	1	0	1	0	2	1
		4		3		1		1		3	
	合格者	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		1		1		0		0		1	
電子工学科	志願者	0	0	1	0	3	1	2	0	1	0
		0		1		4		2		1	
	合格者	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
		0		1		1		1		0	
応用化学科	志願者	4	3	1	1	1	0	0	3	2	0
		7		2		1		3		2	
	合格者	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0
		2		0		1		0		1	
都市工学科	志願者	6	0	1	0	2	1	1	0	1	0
		6		1		3		1		1	
	合格者	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		0		0		1		1		0	
合計	志願者	18	3	9	2	8	2	6	3	13	1
		21		11		10		9		14	
	合格者	2	2	4	0	1	2	4	0	6	0
		4		4		3		4		6	

専攻科

■定員及び現員

平成23年４月７日現在

専攻	定員	現員 1年	現員 2年	計
機械システム工学専攻	8	16(2)	15(0)	31(2)
電気電子工学専攻	8	21(0)	13(0)	34(0)
応用化学専攻	4	4(1)	6(3)	10(4)
都市工学専攻	4	5(0)	3(1)	8(1)
計	24	46(3)	37(4)	83(7)

（ ）内は女子で内数

■入学志願状況

専攻(定員)	年度	19	20	21	22	23
機械システム工学専攻	志願者	17(0)	16(0)	28(0)	21(0)	28(2)
	合格者	12(0)	12(0)	19(0)	15(0)	17(1)
電気電子工学専攻	志願者	19(2)	25(0)	21(0)	17(0)	28(0)
	合格者	14(1)	18(0)	16(0)	15(0)	20(0)
応用化学専攻	志願者	7(2)	10(0)	7(0)	11(5)	9(3)
	合格者	7(2)	6(0)	5(0)	7(4)	4(1)
都市工学専攻	志願者	9(1)	6(0)	7(3)	4(2)	10(0)
	合格者	5(1)	5(0)	4(1)	3(1)	6(0)
計	志願者	52(5)	57(0)	63(3)	53(7)	75(5)
	合格者	38(4)	41(0)	44(1)	40(5)	47(2)

（ ）内は女子で内数

卒業生の進路

■学科別進路状況（過去5年間）

年度	学科＼項目	卒業者数	進学		就職者	その他	求人件数	求人数	求人倍率 求人数/求職者
			進学希望者	進学者					
18	機械工学科	76(2)	32(0)	32(0)	41(2)	3(0)	666	690	16.8
	電気工学科	36(0)	11(0)	11(0)	21(0)	4(0)	644	654	31.1
	電子工学科	36(5)	19(3)	19(3)	17(2)	0(0)	548	556	32.7
	応用化学科	32(17)	14(6)	14(6)	17(11)	1(0)	306	308	18.1
	都市工学科	31(7)	12(1)	12(1)	16(6)	3(0)	267	268	16.8
	合計	211(31)	88(10)	88(10)	112(21)	11(0)	延 2,431 実 666	2,476	22.1
19	機械工学科	65(1)	29(0)	29(0)	34(1)	2(0)	658	699	20.6
	電気工学科	36(0)	20(0)	20(0)	14(0)	2(0)	650	674	48.1
	電子工学科	38(0)	22(0)	22(0)	15(0)	1(0)	585	585	39.0
	応用化学科	36(17)	14(0)	14(0)	20(15)	2(2)	276	279	14.0
	都市工学科	40(10)	15(5)	15(5)	22(5)	3(0)	246	250	11.4
	合計	215(28)	100(5)	100(5)	105(21)	10(2)	延 2,415 実 830	2,487	23.7
20	機械工学科	78(0)	35(0)	35(0)	42(0)	1(0)	618	646	15.4
	電気工学科	38(1)	25(0)	25(0)	12(1)	1(0)	599	603	50.3
	電子工学科	37(4)	17(2)	17(2)	16(2)	4(0)	520	525	32.8
	応用化学科	36(16)	18(3)	18(3)	18(13)	0(0)	238	238	13.2
	都市工学科	36(10)	19(3)	19(3)	16(6)	1(1)	218	221	13.8
	合計	225(31)	114(8)	114(8)	104(22)	7(1)	延 2,193 実 830	2,233	21.5
21	機械工学科	72(1)	29(1)	29(1)	40(0)	3(0)	460	476	11.9
	電気工学科	33(0)	18(0)	18(0)	14(0)	1(0)	433	442	31.6
	電子工学科	34(6)	15(0)	15(0)	18(6)	1(0)	375	384	21.3
	応用化学科	32(16)	17(5)	17(5)	13(10)	2(1)	196	198	15.2
	都市工学科	28(6)	11(2)	11(2)	17(4)	0(0)	194	203	11.9
	合計	199(29)	90(8)	90(8)	102(20)	7(1)	延 1,658 実 574	1,703	16.7
22	機械工学科	77(5)	31(2)	31(2)	43(3)	3(0)	378	387	9.0
	電気工学科	37(1)	11(0)	11(0)	24(1)	2(0)	358	361	15.0
	電子工学科	39(4)	15(2)	15(2)	22(2)	2(0)	283	284	12.9
	応用化学科	34(6)	25(4)	25(4)	8(2)	1(0)	140	150	18.8
	都市工学科	34(9)	12(4)	12(4)	20(5)	2(0)	154	160	8.0
	合計	221(25)	94(12)	94(12)	117(13)	10(0)	延 1,313 実 488	1,342	11.5

（ ）内は女子で内数

■平成22年度卒業生就職企業

学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子工学科	応用化学科	都市工学科	合計	学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子工学科	応用化学科	都市工学科	合計	学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子工学科	応用化学科	都市工学科	合計	学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子工学科	応用化学科	都市工学科	合計
合　計	43 (3)	24 (1)	22 (2)	8 (2)	20 (5)	117 (13)	千代田金属工業㈱	1					1	川重車両テクノ㈱	1					1	神鋼テクノ㈱			1 (1)			1 (1)
〈建設〉 5	1				4 (1)	5 (1)	中西金属工業㈱	1					1	東芝エレベータ㈱			1			1	㈱創造科学研究所				1		1
㈱アーバンパイオニア設計					1 (1)	1 (1)	日本精工㈱				1		1	中西輸送機㈱	1					1	高菱エンジニアリング㈱	1					1
鳳工業㈱					1	1	三菱重工業㈱神戸造船所	1	1	1		1	4	〈その他製造〉 4	3 (1)		1			4 (1)	東洋エンジニアリング㈱	1					1
㈱スガナミ					1	1	〈機械〉 10	6	2 (1)	1	1		10 (1)	アイシン精機㈱	1					1	日立メディコ㈱		1	1			2
㈱NIPPO	1				1	2	㈱IHI回転機械		1 (1)				1 (1)	ザ・パック㈱	1 (1)					1 (1)	㈱フォーラムエンジニアリング			1			1
〈食品〉 12	5	3	3 (1)		1 (1)	12 (2)	音羽電機工業㈱		1				1	セッツカートン㈱	1					1	㈱ブリッジエンジニアリング	1					1
グリコ兵庫アイスクリーム㈱	1	1				2	ダイハツ工業㈱	1					1	㈱ワイエヌエス			1			1	松本商事㈱					1	1
神戸グリコ㈱	2		1			3	㈱タクマ	1					1	〈電力・ガス〉 16	5	4		1	6 (2)	16 (2)	三菱電機コントロールソフトウェア㈱			1			1
日本製粉㈱	1					1	ナブテスコ㈱	2					2	大阪ガス㈱	3	1			6 (2)	10 (2)	三菱電機システムサービス㈱			1			1
日本たばこ産業㈱			1			1	日東電工㈱				1		1	関西電力㈱		1		1		2	三菱電機ビルテクノサービス㈱			1			1
㈱ヤクルト本社京都工場	1	1			1 (1)	3 (1)	日本ノズル㈱	1					1	中部電力㈱		1				1	モラブ阪神工業㈱			2		2 (1)	4 (1)
山崎製パン㈱		1	1 (1)			2 (1)	パナソニック溶接システム㈱	1					1	東京電力㈱	2	1				3	菱神テクニカ㈱	1					1
〈繊維〉 0						0	ムラテック販売㈱			1			1	〈情報・通信〉 3		3				3	〈官公庁〉 2		1			1	2
〈化学〉 11	2 (1)	3	1	4 (2)	1	11 (3)	〈電子部品〉 4	3		1			4	NTTコミュニケーションズ㈱		1				1	神戸市役所		1				1
サンユレック㈱				1		1	オリンパスイメージング㈱	1					1	NTTネオメイト㈱		1				1	兵庫県					1	1
住友精化㈱		1				1	京セラ㈱	1					1	㈱ケイ・オプティコム		1				1	〈その他〉 2	1				1	2
第一三共プロファーマ㈱	1	1				2	新生ハイテック㈱			1			1	〈運輸〉 6	2 (1)	1	2		1	6 (1)	北野ホテル					1	1
大陽日酸㈱		1				1	パナソニックエレクトロニックデバイス㈱	1					1	ANAテクノアビエーション㈱			1			1	レインボーマリタイム	1					1
武田薬品㈱				1 (1)		1 (1)	〈電気通信機器〉 9	4	4	1			9	山陽電気鉄道㈱		1				1							
中外製薬工業㈱	1 (1)					1 (1)	キヤノン㈱	1	1				2	東海旅客鉄道㈱	1 (1)					1 (1)							
DIC㈱				1 (1)		1 (1)	ダイキン工業㈱		1				1	西日本旅客鉄道㈱	1		1			2							
日本触媒㈱				1		1	㈱日立製作所	1					1	日本貨物鉄道㈱関西支社					1	1							
三菱化学㈱			1			1	三菱電機㈱伊丹製作所	2	1				3	〈技術サービス〉 21	5	1	10 (1)	1	4 (1)	21 (2)							
ミヨシ油脂㈱					1	1	三菱電機㈱神戸製作所			1			1	アイテック阪急阪神㈱			1			1							
〈鉄鋼・金属〉 9	4	2	1	1	1	9	三菱電機㈱姫路製作所		1				1	アイネット・システムズ㈱			1			1							
川崎重工業㈱	1	1				2	〈輸送機器〉 3	2		1			3	神鋼環境メンテナンス㈱	1				1	2							

■大学編入学・高専専攻科進学状況の推移（過去5年間）

（単位　人）

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	合格者	入学者	合格者	入学者	合格者	入学者	合格者	入学者	合格者	入学者
北海道大学			1	1						
東北大学					2	2	1	1	1	1
岩手大学			1	1						
筑波大学					1	1			1	1
千葉大学					2	2	1	1	1	1
東京大学			1	1			1	1		
東京農工大学			1	1					1	1
東京工業大学			1	1					1	1
横浜国立大学							1	1		
電気通信大学					1	1	1	1		
長岡技術科学大学	2	2	9	9	12	12	3	3	2	2
山梨大学	1	1								
富山大学					1	1				
金沢大学			1	1	1	1				
福井大学							1	1		
信州大学					2	2				
岐阜大学	1	1			1	1				
名古屋大学					1	1			1	1
豊橋技術科学大学	13	13	10	10	9	9	6	6	10	10
三重大学					1	1				
京都大学			1	1			1	1		
京都工芸繊維大学	3	3	3	3	2	2			1	1
大阪大学	3	3	3	3	8	8	5	5	4	4
神戸大学	7	7	4	4	5	5	7	7	4	4
奈良女子大学					1	1				
和歌山大学	1	1	1	1						
鳥取大学			1	1						
島根大学					1	1				
岡山大学	2	2	1	1			3	3	5	5
広島大学	2	2	2	2						
山口大学			1	1						
徳島大学	4	4	4	4	6	6	7	7	2	2
愛媛大学	1	1			1	1				
大分大学					1	1				
九州大学			1	1			1	1	1	1
熊本大学					1	1				
宮崎大学							1	1		
九州工業大学	1	1			2	2			2	2
日本大学							1	1		
琉球大学							1	1		
首都大学東京			1	1						
京都府立大学							1	1		
大阪府立大学					1	1			2	2
福井県立大学									1	1
滋賀県立大学							1	1		
兵庫県立大学	2	2	1	1	1	1			3	3
創価大学			1	1						
鹿屋体育大学			1	1						
東海大学			1	1						
同志社大学	3	3			1	1	1	1		
立命館大学	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3
京都造形大学							1	1		
関西大学	2	2			1	1	1	1	1	1
神戸学院大学							1	1		
神戸芸術工科大学			2	2	2	2				
頌栄短期大学					1	1				
鹿屋体育大学									1	1
編入学計	51	51	58	58	73	73	51	51	48	48
神戸市立高専	35	35	40	39	41	41	38	38	45	45
その他高専	1	1	1	1			1	1	1	1
専攻科進学計	36	36	41	40	41	41	39	39	46	46
進学合計	87	87	99	98	114	114	90	90	94	94

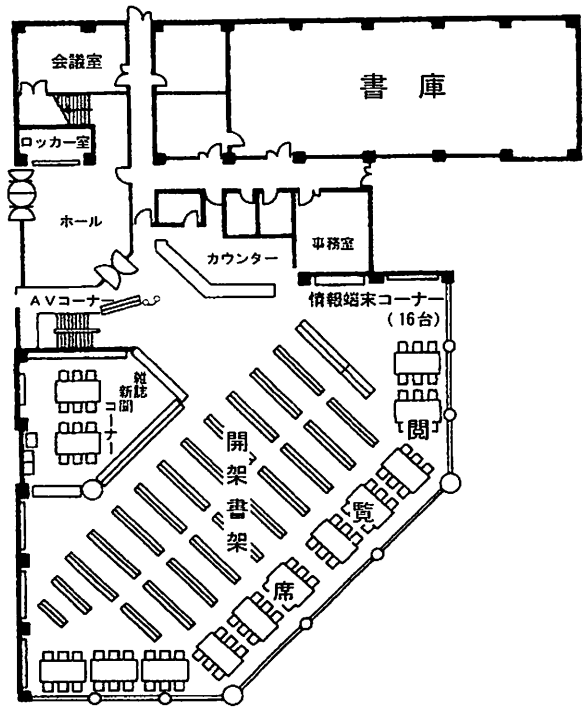
図　書　館

1階は閲覧室、開架書架、雑誌・新聞コーナー、参考図書コーナー等があり、学習他、多目的に利用されています。

尚、H.15年4月から図書館システムが稼動し、貸出・返却・蔵書検索等が容易になりました。又、端末が16台設置され、就職・進学等の情報収集に役立ってます。

2階のAVコーナーには、CDブース2台、DVDブース8台、ビデオデッキが3台あり、昼休み等に多く利用されています。

H23年4月現在、蔵書80,298冊、CD757枚、カセット85本、ビデオ430本、DVD226本を所蔵しています。



蔵　書　数

平成23年4月現在

	和漢書	洋　書	計
総　記	11,131	150	11,281
哲　学	1,896	211	2,107
歴　史	3,350	44	3,394
社　会	5,820	81	5,901
自　然	16,531	872	17,403
工　学	25,995	1,008	27,003
産　業	645	10	655
芸　術	2,298	31	2,329
語　学	2,694	406	3,100
文　学	6,618	507	7,125
計	76,978	3,320	80,298

平成22年度利用状況

開館日	入館者数		貸出者数		貸出冊数	
	入館者数	1日平均	貸出者数	1日平均	貸出冊数	1日平均
239	61,755	258.4	7,762	32.5	13,230	55.4

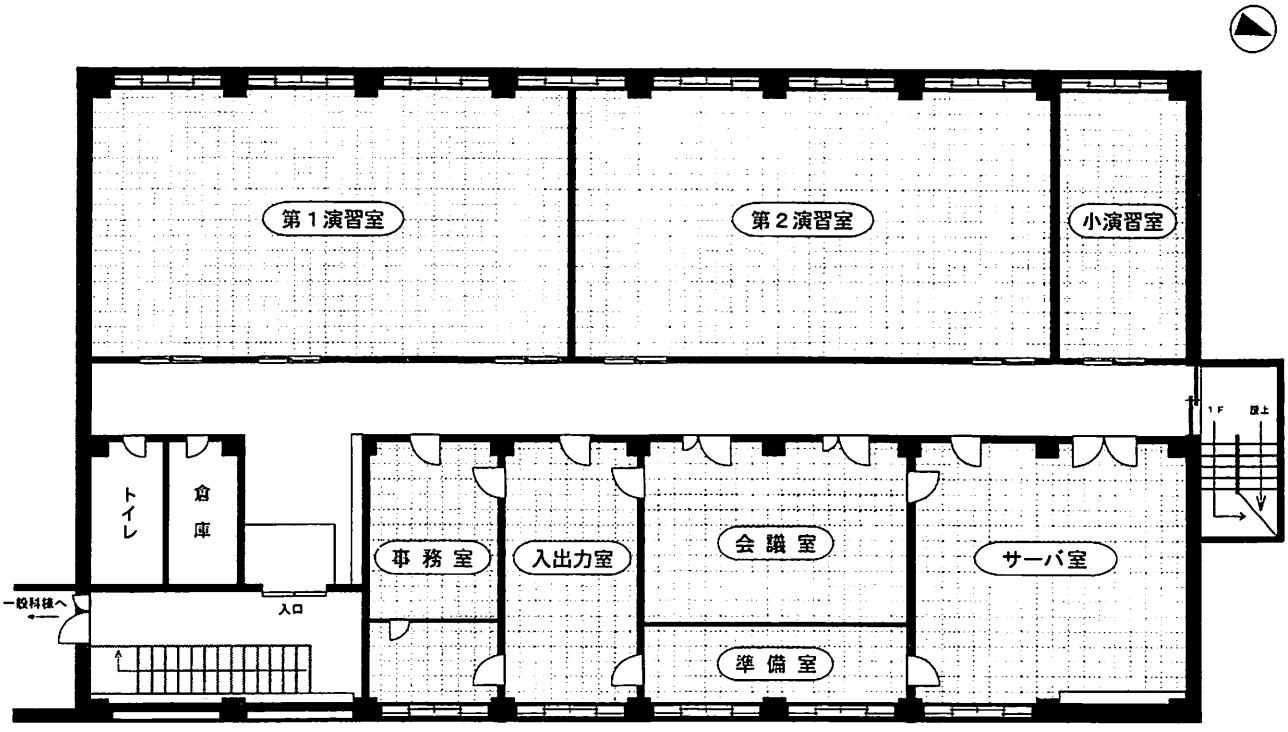
総合情報センター

総合情報センターは、教育、研究および事務の情報化を支援するためのコンピュータ環境およびネットワーク環境を提供する校内共同利用施設であり、神戸高専情報ネットワークシステムを管理、運営しています。

当センターには、授業で1人1台ずつコンピュータが利用できるように、48台のコンピュータが設置された演習室が2部屋と、実験実習や卒業研究など少人数の授業で利用できるコンピュータ20台が設置された小演習室があります。これらを利用して、情報リテラシー教育、プログラミング教育、さらに各学科の情報関連専門教育などを行っています。そのほかにも、クラブ活動（電子計算機部）、公開講座などに利用されています。また、演習室は毎日放課後に開放され、学生は授業の演習やインターネットの利用などを行っています。図書館は16台、本部棟には2台の情報端末が設置され、学生は昼休みなどに自由に利用できます。

また、同センターには、サーバ室があり4台の実サーバ上で約40台の仮想サーバが稼動しています。これらのサーバにより、電子メールをはじめとする各種ネットワークサービスを教職員および学生に提供しています。各種サービスは、校内に設置されたコンピュータから利用することができます。校内ネットワークは、学術情報ネットワーク（SINET）へ1Gbps、民間プロバイダへ100Mbpsで外部接続され、教職員および学生に高速なインターネット環境を提供しています。

〔総合情報センター配置図〕



〔導入機器一覧〕

室　名	機　器	機　種（構　成）	台数
サーバ室	サーバ	IBM System x3650	4式
	ディスクアレイ装置	IBM Systrem Strage DS4200	1式
	無停電電源装置	APC smartUPS1500RM	5式
第１演習室	演習用端末	Epson Endevor ST100（19inch液晶モニタ付）	50式
	教示システム	液晶プロジェクタ（１台）、書画カメラ（１台）、ＤＶＤビデオデッキ（１台）、ＲＢＧマトリックススイッチ（１式）、間モニター（25台）	1式
	音響システム	ミキサーアンプ（１台）、スピーカ（１組）、ワイヤレスチューナ（１式）、ワイヤレスマイク（２本）	1式
	レーザプリンタ	リコー IPSIO SP6110	2台
第２演習室	第１演習室に同じ		
小演習室	演習用端末	Epson Endevor ST100（19inch液晶モニタ付）	21式
	レーザプリンタ	リコー IPSIO SP6110	1台
入出力室	カラーレーザプリンタ	Canon LBP5900SE	1式
	長尺プリンタ	Epson PX9550	1式
	ドキュメントスキャナー	Canon DR-5010C	1式

神戸高専の施設概要

● 校舎及び校地面積

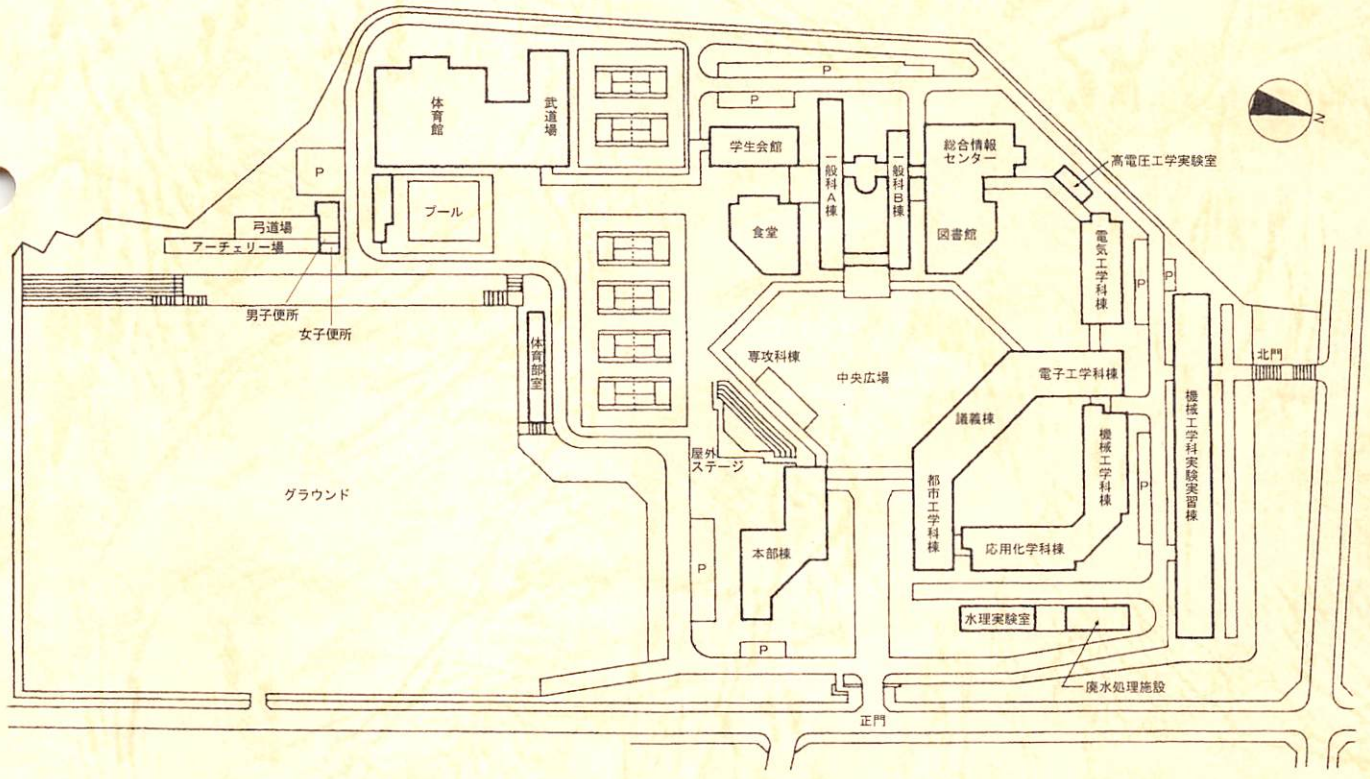
校舎面積　　28,675㎡

校地面積　　約8.5ha（85,478㎡）

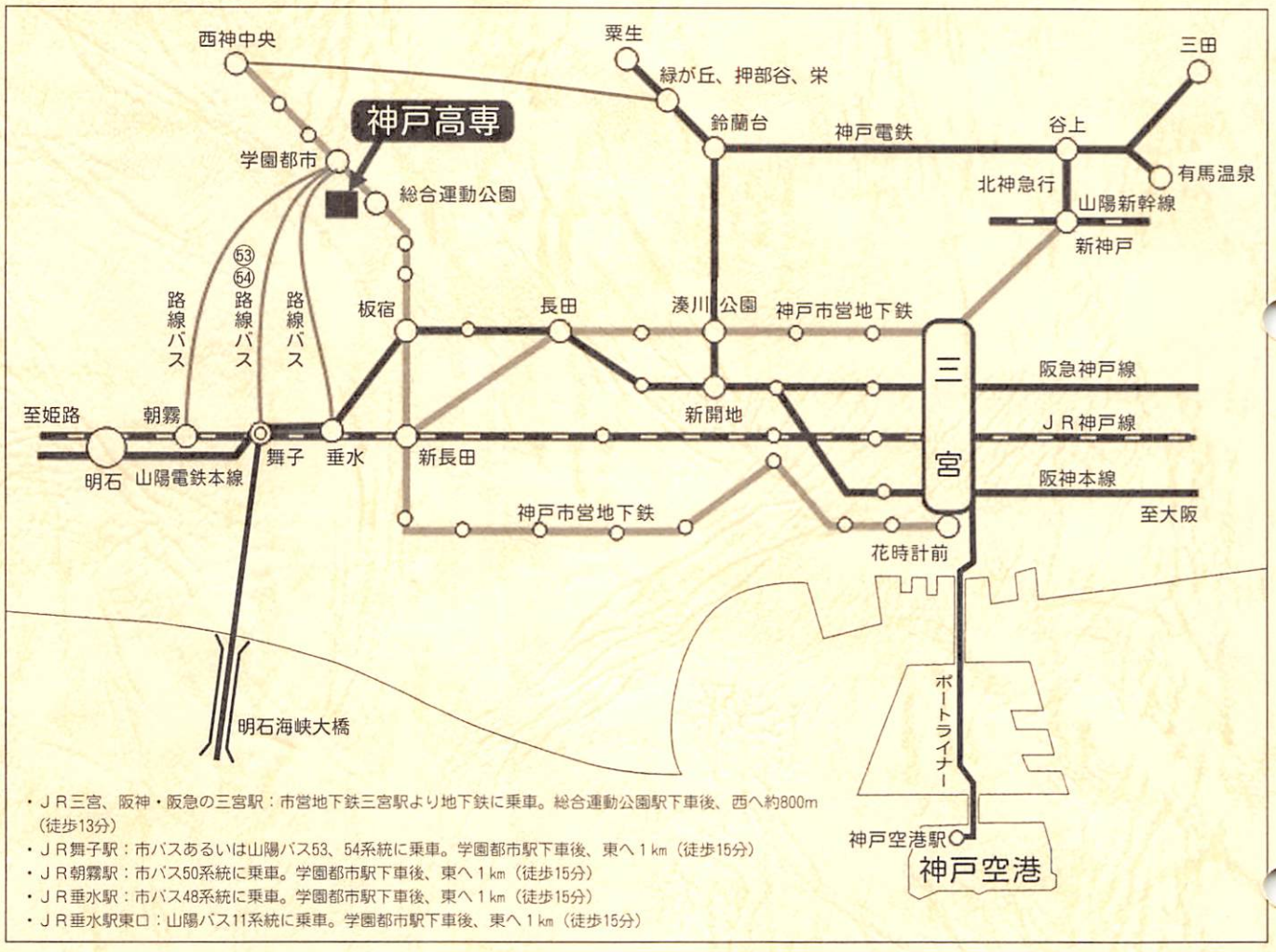
● 校舎の施設別床面積

建物区分	計（㎡）	建物区分	計（㎡）
本部棟	1,820.11	学生会館棟	1,240.04
一般科棟	4,192.80	食堂棟	497.05
専門学科棟	12,481.69	体育館棟	2,905.29
実験実習棟1（機械工学科）	1,629.96	プール付属棟	120.90
実験実習棟2（電気工学科）	102.40	体育部室棟	337.20
実験実習棟3（都市工学科）	181.26	弓道場棟	117.30
専攻科棟1	1,270.00	廃水処理施設棟	188.28
図書館総合情報センター棟	1,590.97		

構内配置図



交通機関案内図



・ＪＲ三宮、阪神・阪急の三宮駅：市営地下鉄三宮駅より地下鉄に乗車。総合運動公園駅下車後、西へ約800m（徒歩13分）
・ＪＲ舞子駅：市バスあるいは山陽バス53、54系統に乗車。学園都市駅下車後、東へ１km（徒歩15分）
・ＪＲ朝霧駅：市バス50系統に乗車。学園都市駅下車後、東へ１km（徒歩15分）
・ＪＲ垂水駅：市バス48系統に乗車。学園都市駅下車後、東へ１km（徒歩15分）
・ＪＲ垂水駅東口：山陽バス11系統に乗車。学園都市駅下車後、東へ１km（徒歩15分）

神戸市立工業高等専門学校
〒651-2194 神戸市西区学園東町８丁目３番地
代　表　078-795-3322
ＦＡＸ　078-795-3314
ホームページ　http：//www.kobe-kosen.ac.jp/

この印刷物は、再生紙を使用しています。

神戸市教育委員会神戸市立工業高等専門学校
神戸市広報印刷物登録
平成23年度第59号（広報印刷物規格Ａ－１類）